

(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事
(建築主体工事)

図面リスト

図面番号	図名	図面番号	図名	図面番号	図名	図面番号	図名
A-01	建築工事特記仕様書1	A-51	<現況>建具表2				
A-02	建築工事特記仕様書2	A-52	<現況>建具表3				
A-03	建築工事特記仕様書3	A-53	<現況>建具表4				
A-04	建築工事特記仕様書4	A-54	<現況>建具表5				
A-05	建築改修工事特記仕様書1	A-55	<改修>建具表1				
A-06	建築改修工事特記仕様書2	A-56	<改修>建具表2				
A-07	建築改修工事特記仕様書3	A-57	<現況>展開図1				
A-08	建築改修工事特記仕様書4	A-58	<現況>展開図2				
A-09	位置図	A-59	<現況>展開図3				
A-10	敷地求積図	A-60	<現況>展開図4				
A-11	<現況>配置図	A-61	<現況>展開図5				
A-12	<改修>配置図・平均地盤面算定図	A-62	<現況>展開図6				
A-13	日影図	A-63	<現況>展開図7				
A-14	仮設計面図	A-64	<改修>展開図1				
A-15	工事概要・外部仕上表	A-65	<改修>展開図2				
A-16	内部仕上表1	A-66	<改修>展開図3				
A-17	内部仕上表2	A-67	<改修>展開図4				
A-18	内部仕上表3	A-68	<改修>展開図5				
A-19	<現況>1階平面図	A-69	<改修>展開図6				
A-20	<現況>2階平面図	A-70	<改修>展開図7				
A-21	<現況>PH階平面図・屋根伏図	A-71	<改修>展開図8				
A-22	<改修>1階平面図	A-72	E V詳細図1				
A-23	<改修>2階平面図	A-73	E V詳細図2				
A-24	<改修>PH階平面図・屋根伏図	A-74	E V詳細図3				
A-25	1階求積図	A-75	E V詳細図4				
A-26	2階・PH階求積図	A-76	部分詳細図1				
A-27	防火区画図	A-77	部分詳細図2				
A-28	法規チェックリスト図	A-78	部分詳細図3				
A-29	<現況>立面図1	A-79	<現況>外構図				
A-30	<現況>立面図2	A-80	<改修>外構図				
A-31	<改修>立面図1	A-81	外構詳細図				
A-32	<改修>立面図2						
A-33	<現況>断面図						
A-34	<改修>断面図						
A-35	敷地断面図						
A-36	<現況・改修>平面詳細図1						
A-37	<現況・改修>平面詳細図2						
A-38	<現況・改修>断面詳細図1	S-01	構造特記仕様書				
A-39	<現況・改修>断面詳細図2	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図				
A-40	<現況・改修>階段詳細図	S-03	鉄骨構造標準図				
A-41	屋外階段詳細図	S-04	H形鋼接手標準図				
A-42	<現況>1階天井伏図	S-05	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準図				
A-43	<現況>2階天井伏図	S-06	基礎伏図・基礎詳細図				
A-44	<改修>1階天井伏図	S-07	梁伏図・部材リスト				
A-45	<改修>2階天井伏図	S-08	軸組図				
A-46	<現況>1階建具平面図	S-09	架橋詳細図-1				
A-47	<現況>2階建具平面図	S-10	架橋詳細図-2				
A-48	<改修>1階建具平面図						
A-49	<改修>2階建具平面図						
A-50	<現況>建具表1						

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
B	1 建築用コンクリートブロック	補強コンクリートブロック造 ※ 空洞 160×160・空洞 160×160-W (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)	10	1 材料・工法的一般	剛性の確保 石材の剛性が不足する場合には、FRP 補強などの処理を行う。	13	1 長尺金属板葺き	(13.2.2~3) (表 13.2.0)	15	① モルタル塗り材料	吸水性調整材 (15.2.2)
	② ALCパネル	種類 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 取付け工法 (種別)		2 天然石張り	石材の品質 (10.2.0)		② 折板葺	形式 ※ 重ね形 ○ はぜ締め形 かん合形 (13.3.2~3) (表 13.2.1)		② 床コンクリートの直均し仕上げ	下表以外は標準仕様6.2.4及び標準15.3.2による (15.3.1~2) (表 6.2.4)
	3 押出成形セメント板	性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。		2 テラゾ張り	種石の種類 ※ 大理石 (10.2.0)		③ とい	材 料 ※ 塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯 (OGLCOR-20-AZ150) ※ 0.4 (mm)		③ 仕上げ塗材仕上げ	(15.5.2) (表 15.5.0)
C	1 アスファルト防水	(9.2.2~3) (表 9.2.3~8)	11	1 陶磁器質タイル	(11.2.0)	14	① ステンレスの表面仕上げ	(14.2.0)	16	① アルミニウム製	外部に面する建具 (16.2.2) (16.2.4) (表 16.2.0)
	2 改質アスファルト防水	種類 ※ AS-1 ・ AS-2 厚さ () (9.3.2~4) (表 9.3.1)		2 壁タイル張りの工法	内装タイル ※ 改良接着剤張り ・ 改良積上げ張り (11.2.3) (11.3.3) (表 11.3.2)		② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種類 施工箇所 (14.2.0) (表 14.2.0)		② 網戸	防虫網 (網目16メッシュ) (16.2.3)
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	種類 厚さ (mm) 施工箇所 仕上り塗料塗布 使用分類 (9.4.2~3) (表 9.4.1)		3 陶磁器質タイル	適用タイル 種別 タイル型枠先付け面のせき板 (11.2.2) (11.4.2) (表 11.4.0)		③ 鉄の亜鉛めっき	表面処理方法 種別 施工箇所 (14.2.3) (表 14.2.2)		③ 網戸	防虫網 (網目16メッシュ) (16.2.3)
D	1 シーリング	下表以外は、表 9.6.1 による (9.6.2) (表 9.6.1)	12	1 木材の品質	※ 標準仕 12.2.1 による 市販品 (12.2.0)	17	7 アルミニウム製笠木	(14.7.2~3) (表 14.2.0) (表 14.7.1)	17	4 鋼製建具	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2) (表 16.3.1)
	2 その他の防水処理	※ フラットパネル (図示) ・ 50 ・ 60 ・ A種 ※ 有り ()		2 樹種	※ 標準仕 表 12.2.3 による (12.2.0) (表 12.2.3)		④ 軽量鉄骨天井下地の補強	天井ふところ1.0m以上の補強 ※ 標準仕 14.4.4 (h) による補強 (14.2.2) (表 14.2.2)		4 鋼製建具	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2) (表 16.3.1)
	3 その他	※ 間仕切壁 パネル ・ 680 ・ ※ 100 ・ 150 ・ ※ A種 ※ 有り ()		3 集成材	※ 標準仕 表 12.2.3 による (12.2.0) (表 12.2.3)		⑤ 軽量鉄骨地下地の補強	スタッド、ランナの種別 (14.5.3)		5 鋼製軽量建具	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2) (表 16.3.1)

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7	自動ドア開閉装置	(16.8.2~3) (表16.8.1~3) 開閉方法 センサの種類 ※ スライディングドア ※ スイングドア ※ マットスイッチ ※ 光線スイッチ ※ 熱線スイッチ 電子マットスイッチ 音波スイッチ 光電スイッチ	17	1 一般事項	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 イ. 工事に先立ち、総合図を作成し監督職員の承諾を受ける。 ロ. 総合図には特に下記の事項を記載する。 層間変位追従方式(構造体への取付部、ユニット間の接合部)、パネル割付 ガラス厚と割付・取付金物配置、部材断面、フイバコンクリートの配筋及び 埋込金物、パッキング・シール材・インシュレーション・スベリ材、層間変 位部分の耐火被覆、表面処理・表面処シール材 イン	19	1 接着剤	(19.2.2) (19.3.3) (19.5.6) 接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ 接着剤に含まれる可溶性は、揮発性とする。但し標準仕 19.2.1 エポキシ 樹脂系の指定のあるものは除く。
8	自閉式吊り引戸装置	品質規格 ※ 標準仕 16.9.1 による (表 16.9.2~3)	2	2 メタルカーテンウォール	カーテンウォール材の種類 (17.2.2) 種類 規格等 ※ アルミニウム製 ※ 共仕 16.2.3 のアルミニウム製建具の材料による	2	2 ビニル床シート張り	(19.2.2) 種類 JIS の記号 色柄 厚さ(mm) ※ 発泡層のないもの ※ NC ※ 無地 ※ プレパル ※ 2.5 ※ 発泡層のあるもの ※ 柄物 ※ 無地 ※ 2.0
9	木製建具	表面材 ※ 合板類 (表 16.6.2) ※ ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード ホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ (16.6.2) かまち戸の掛種 かまち() 鏡板() ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度(挿入などの裏面は除く) (表 16.6.3) ※ 鳥の子 接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ (16.6.2) 建具材の含水率 ・A種 ※B種 ・C種 (表16.6.1)	3	3 PCカーテンウォール	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ パックマリオン方式 (単純2辺支持様式 ・ SSG構法) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型・パネル組み合わせ方式(ノックダウン方式 ・ ユニツト方式)	3	3 ビニル床タイル張り	種類 JIS の記号 厚さ(mm) 備考 ※ コポジションビニル床タイル(半硬質) CT ※2 ※ コポジションビニル床タイル(軟質) CTS ・ ※ 純ビニル床タイル HT ・3
10	その他の建具	エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等 (国土交通大臣認定取得品)	4	4 ガラス	ガラス ※ 種類、厚さは図示 (16.13.2) ※ ガラスブロック 標準仕 16.13.5 による (16.13.5) 寸法(mm) 色 鏡 反射 パターン 防火認定 200×200 ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し ※ 乳白 ・ カラー() 床用 ※ 有り	4	4 帯電防止床タイル張り	(19.2.2) 種類 厚さ 性能 ※ コポジションビニル床タイル ※2mm 体積抵抗値 (JIS K6911による) ・ ホモジニアスビニル床タイル ・ 4.0又は4.5mm 1.0×10 ⁹ Ω以下または、 ・ 漏えい抵抗値 (JIS A1454による) ・ 1.0×10 ¹⁰ Ω未満
11	建具用金物	マスターキー ※ 製作する(※3枚) 製作しない (16.7.4) グラッドマスターキー 製作する(※3枚) 製作しない (16.3.6) (16.4.6) (16.7.2) (表 16.7.1) 錠前類はシリンダー箱錠(レバ・ハンドル)とする。 ※ 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第7条に基づくシリンダー錠の防犯性能 ※ 要 (5分未満 ※5分以上 ・ 10分以上) 不要 見本品提出の上、監督職員の承諾を得ること。	5	5 ガラスとめ材及び溝	ガラス ※ 種類、厚さは図示 (16.13.2) ※ ガラスブロック 標準仕 16.13.5 による (16.13.5) 寸法(mm) 色 鏡 反射 パターン 防火認定 200×200 ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し ※ 乳白 ・ カラー() 床用 ※ 有り	5	5 ビニル幅木	高さ(mm) ※ 60 75 100 70 (19.2.2) 階段用 型 型
12	ガラス	ガラス ※ 種類、厚さは図示 (16.13.2) ※ ガラスブロック 標準仕 16.13.5 による (16.13.5) 寸法(mm) 色 鏡 反射 パターン 防火認定 200×200 ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し ※ 乳白 ・ カラー() 床用 ※ 有り	6	6 ガラスとめ材及び溝	建具の種類 材種 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット(FIX部はシーリング材) 銅製及び軽量鋼製 ※ シーリング材 ステンレス製 ※ シーリング材 ただし、防火設備の戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。	6	6 カーベット敷き	タフテッドカーベット (19.3.3~4) (表 19.3.1~2) 種類 バイル形状 帯電性 色柄等 備考 ・ A種 ・ カットバイル 人体帯電圧 ※ 単一色(無地) ・ B種 ・ ループバイル ※ 3K以下 ・ 柄物(標準品) ・ C種 ・ カット・ループ併用
13	ガラスとめ材及び溝	建具の種類 材種 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット(FIX部はシーリング材) 銅製及び軽量鋼製 ※ シーリング材 ステンレス製 ※ シーリング材 ただし、防火設備の戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。	7	7 ガラス用フィルム	板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標準仕 16.13.3 以外のアルミニウム建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築 学会 JASS17 ガラス工事「3.1 収まり寸法標準」によるほか、性能が確 認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	7	7 合成樹脂塗床	タフテッドカーベット (19.3.3~4) (表 19.3.2) バイル形状 バイル長(mm) 工法 帯電性 ・ カットバイル ※ 5~7 ※ 全面接着工法 人体帯電圧 ・ マルチバイル ※ 4~6 ※ グリッパ工法 ※ 3K以下 ・ レババイル ※ 4 ・ カット・ループ併用
14	ガラス用フィルム	板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標準仕 16.13.3 以外のアルミニウム建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築 学会 JASS17 ガラス工事「3.1 収まり寸法標準」によるほか、性能が確 認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	8	8 重量シャッター	構造用スチール ※ 適用しない ・ 適用する(施工箇所 ※ 図示) (17.2.2) 断熱材 ※ 適用しない (17.2.2) ※ 適用する(種類: 厚さ(mm)): 施工箇所 ※ 図示 (17.2.2) 製品の寸法許容差 ※ 標準仕 17.2.1 による (17.2.3) (表 17.2.1) メーカー標準製作規定寸法許容差による	8	8 フローリング張り	タイルカーベット (19.3.3) (表 19.3.2) バイル形状 種類 寸法(mm) 総厚(mm) 電気抵抗値(Ω) 施工箇所 ※ レババイル ※ 第一種 ※ 500 角 ・ 6.5 ※ 適用しない ・ 事務室 ・ 第二種 ・ 10 ⁹ Ω以下
15	重量シャッター	開閉形式 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 (16.10.2) (表 16.10.1) 一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない (16.10.2) 機能 ・ 外壁防火 ・ 屋内防火 ・ 防煙 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 50 ・ 80 ・ 120 ・ 危害防止機構 設置しない箇所 図示 ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) シャッターの二段降下方式 ガイドレール等 ※ ステンレス製 SUS304 ・ 鋼鉄製 (16.10.3~4) (表 16.10.2)	9	9 軽量シャッター	アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表 14.2.1) 種類 色彩等 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ 無着色 ・ A-2種 ・ B-2種 ・ プラウ系 ・ ブラック ※ ステンカラー ・ 着色塗膜 塗装材料() 焼付け方法() コート() ベーク	9	9 畳敷き	畳表及び畳床はVOC含有量の少ないものとする。 畳表の種類 畳の種類 工法 仕上塗装等 施工箇所 ※ 天然木化粧合板 フローリング ※ なら ※ 杉 ※ 止め工法(C種) ※ 塗装品 ・ 図示 ・ 柃 ※ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃
16	軽量シャッター	開閉形式 ※ 手動式 上部電動式(手動併用) (16.11.2) (表 16.11.1) スラット材質 ※ 塗装済亜鉛めっき鋼板 (16.11.3) 形状 ※ インターロック型 ・ オーバーラッピング型 (16.11.4) ガイドレール等 ・ ステンレス SUS304 1.5 ※ 鋼鉄製 (表 16.11.2) 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分	10	10 オーバーヘッドドア	アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表 14.2.1) 種類 色彩等 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ 無着色 ・ A-2種 ・ B-2種 ・ プラウ系 ・ ブラック ※ ステンカラー ・ 着色塗膜 塗装材料() 焼付け方法() コート() ベーク	10	10 ポリスチレンフォーム床下地材	畳表及び畳床はVOC含有量の少ないものとする。 畳表の種類 畳の種類 工法 仕上塗装等 施工箇所 ※ 天然木化粧合板 フローリング ※ なら ※ 杉 ※ 止め工法(C種) ※ 塗装品 ・ 図示 ・ 柃 ※ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃 ・ 柃
17	オーバードア	セクション材 ※ スチールタイプ アルミニウムタイプ (16.12.2~3) ファイバークラスチックタイプ 開閉方式 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 (16.12.2) 収納方式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 (16.12.2) ・ ハイリフト形 ・ パーチャル形 ガイドレール ・ 鋼板製 ※ ステンレス SUS304 (16.12.3) (表 16.12.1) 耐風圧性能による区分 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 (16.12.2) 電動式の場合は障害物感知装置を設ける。	11	11 リングシャッター	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A	11	11 水圧開放装置	有() 箇所 無し
18	障害物感知装置	障害物感知装置を設ける電動式のシャッター(ドア)のうち、防火シャッター 及び防煙シャッターにおいては、「防火シャッター開閉作動時の危害防止に 関するガイドライン」に基づく「危害防止機構を備えた防火シャッターの据え 付け」に掲げられた障害物感知装置、又は、二段 その他の電動式のシャッター(ドア)は、電動降下中に障害物を感じし、自 動的に停止させる機能を有するものとする。 (16.10.2)	12	12 水圧開放装置	有() 箇所 無し	12	12 オイルステイン塗り(OS)	(表 18.1.2.1 参照) (18.12.2)
19	大形ガラススクリーン	工法 ・ SSG 構法 ・ ガラスリブ工法(ガラス吊下げ工法 ・ ガラス方立工法 ・ 併用工法) ・ DPG 工法 ・ MPG 工法 ・ テンションマリオン工法	13	13 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A	13	13 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A
20	リングシャッター	開閉形式 ○ 手動式 ※ 電動式 パイプの材質 ※ SUS 製 ・ 鋼製 シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない	14	14 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A	14	14 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A
21	水圧開放装置	有() 箇所 無し	15	15 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A	15	15 ガラスとめ材及び溝	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17.3.2) ※ 標準仕 17.3.2 による ・ 下表による(ただし、下表以外は標準仕 17.3.2 による) コンクリートの種類 設計基準強度(Fc) 所要スランプ(cm) 鉄筋 ※ SD295A

工事特記仕様書(改修)

I. 工事名称 (仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(建築主体工事)
II. 工事概要
A-01 建築工事特記仕様書 I. 工事概要を参照

- III. 建築改修工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕の該当項目を示す。

Table with 3 columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed specifications for construction items like standards, conditions, and materials.

Table with 3 columns: ①, ②, ③. Contains detailed specifications for materials, chemical substances, and construction methods.

Table with 3 columns: ②, ③, ④. Contains detailed specifications for construction methods, safety, and waterproofing.

2	改質アスファルトシート防水 (3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3) (3.4.3)(2)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ M4AS</td><td>・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</td><td>屋上、下屋</td></tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ (N種) ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ・ () ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ () ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ・ () ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による</p> <p>断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, P0AS1) 材質 ・ () ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ ・ ()</p> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない</p>	工法	種別	施工箇所	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	屋上、下屋												
		工法	種別	施工箇所																
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	屋上、下屋																		
3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3) (表3.5.1) (表3.5.2) (3.5.2)(b) (3.5.3)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ S3S ・ S3SI</td><td>・ S-F1 (SI-F1) ・ S-F2 (SI-F2)</td><td></td></tr> </table> <p>ルーフィングシート 種類 ・ () ・ (表3.5.1)及び(表3.5.2)による 厚さ ・ () ・ (表3.5.1)及び(表3.5.2)による</p> <p>断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質 ・ () ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの 厚さ ・ ()</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号:) 増張り ・ 図示 (図面番号:)</p>	工法	種別	施工箇所	・ S3S ・ S3SI	・ S-F1 (SI-F1) ・ S-F2 (SI-F2)													
工法	種別	施工箇所																		
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1 (SI-F1) ・ S-F2 (SI-F2)																			
4	塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a) (3.6.3)(b)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ POX ・ L4X</td><td>・ X-1 ・ X-2</td><td>屋根</td></tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: A-24)、材質 (SUS)) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ PIY ・ P2Y</td><td>・ Y-2</td><td></td></tr> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号:)</p>	工法	種別	施工箇所	・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根	工法	種別	施工箇所	・ PIY ・ P2Y	・ Y-2							
		工法	種別	施工箇所																
・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根																		
工法	種別	施工箇所																		
・ PIY ・ P2Y	・ Y-2																			
5	既存防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.6)(c)(2) (3.2.6)(c)(6)	(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない																		
6	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材種</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ SR-1</td><td>シリコーン系</td><td>ガラス</td></tr> <tr><td>・ SR-2</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr> <tr><td>・ MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>サッシ廻り</td></tr> <tr><td>・ PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td>打継ぎ目地、誘発目地</td></tr> <tr><td>・ PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td>外壁</td></tr> </table> <p>工法 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm) ・ ブリッジ工法 (ポンドブレイカー幅 mm、エッジング材幅 mm)</p> <p>シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない</p> <p>材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (お-) ・ 配管用鋼管 (白管)</p> <p>工法 ・ 図示 (図面番号:)</p>	種類	材種	施工箇所	・ SR-1	シリコーン系	ガラス	・ SR-2	シリコーン系		・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り	・ PS-2	ポリサルファイド系	打継ぎ目地、誘発目地	・ PU-2	ポリウレタン系	外壁
		種類	材種	施工箇所																
・ SR-1	シリコーン系	ガラス																		
・ SR-2	シリコーン系																			
・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り																		
・ PS-2	ポリサルファイド系	打継ぎ目地、誘発目地																		
・ PU-2	ポリウレタン系	外壁																		
7	とい (3.8.2)(表3.8.1)																			

8	アルミニウム製 笠木 (3.9.2)(c) (表3.9.1) (3.9.3)(b) (3.9.2)(d) (表5.2.2)	<p>部材の種類 ・ 押出し250形 (アルミ製手摺付) ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 糸幅110mm、板厚 ・ 2.0mm ・ 1.7mm) 固定金具の間隔 (mm) ・ 図示 固定方法 ・ 図示 表面処理 ・ ()</p> <p>工法 既存笠木の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:) 笠木固定金具の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。 FRP防水 防水保証 ・ () 要 (引き渡しの日から10年間)</p>																					
		9	FRP防水 防水保証																				
④	外壁改修工事	1	施工数量調査 (4.1.4) (4.1.5)																				
		2	改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)																				
3	改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ・ () 調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm、 ・ 0.2mm~1.0mm、 ・ 1.0mm以上) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</p> <table border="1"> <tr><th>外壁</th><th>種類</th><th>改修工法</th></tr> <tr><td rowspan="2">・ コンクリート打放し仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td></tr> <tr><td>欠損部</td><td>・ 充填工法</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td></tr> <tr><td>欠損部</td><td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td><td>浮き部</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td></tr> <tr><td>目地</td><td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td></tr> <tr><td>○ 塗り仕上げ外壁</td><td>新規仕上げ</td><td>・ 薄付け仕上げ塗材塗り ・ 厚付け仕上げ塗材塗り ○ 複層仕上げ塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上げ塗材塗り ○ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td></tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	○ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上げ塗材塗り ・ 厚付け仕上げ塗材塗り ○ 複層仕上げ塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上げ塗材塗り ○ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り
		外壁	種類	改修工法																			
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																					
	欠損部	・ 充填工法																					
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																					
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																					
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																					
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																					
○ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上げ塗材塗り ・ 厚付け仕上げ塗材塗り ○ 複層仕上げ塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上げ塗材塗り ○ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																					
3	改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>・ 樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 (25ml) 注入間隔 (200~300) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 ()</p> <p>材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 採取回数 () ・ 採取部分補修方法 ()</p> <p>Uカットシール材充填工法 材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-2 ・ ()) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない</p>																					
(4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)																							

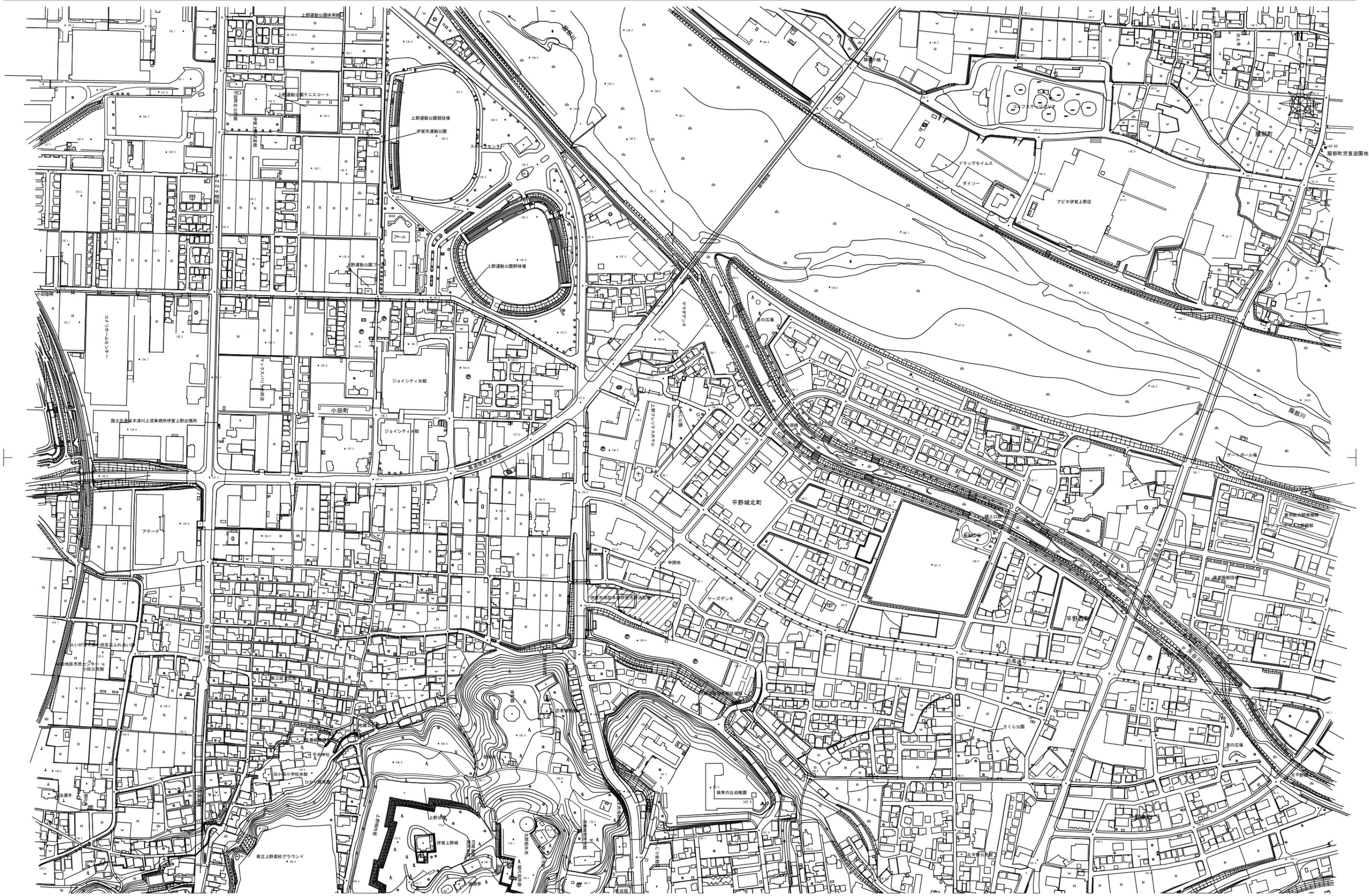
(4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7)	<p>・ シール工法 材料 ・ バテ工エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p>																																				
(4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8)	<p>・ 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p>																																				
(4.2.2)(e) (4.5.8)	<p>・ モルタル塗替え工法 材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 () 仕上げ厚 ()</p>																																				
(4.2.2)(e) (4.4.10) (図4.4.1)	<p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(e) (4.4.11) (図4.4.2)	<p>・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(e) (4.4.12) (図4.4.2)	<p>・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(f) (4.4.13) (図4.4.3)	<p>・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(f) (4.4.14) (図4.4.4)	<p>・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(f) (4.4.15) (図4.4.4)	<p>・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン ()</p>																																				
(4.2.2)(h) (4.5.7)	<p>・ タイル部分張替え工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂</p>																																				
	<table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>形状寸法</th><th>工法</th><th>区分</th><th>うわ</th><th>役物</th><th>耐薬品</th><th>特注色</th><th>耐凍害</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>I類(磁器)</td><td>II類(せつ器)</td><td>III類(陶器)</td><td>くすり</td><td></td><td>性能有無</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわ	役物	耐薬品	特注色	耐凍害				I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	くすり		性能有無																		
施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわ	役物	耐薬品	特注色	耐凍害																													
			I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	くすり		性能有無																													
(4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.3)	<p>・ 設ける (・ 一体成形 ・ 接着加工) ・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない ・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ タイル張替え工法</p> <table border="1"> <tr><th>タイルの種類</th><th>タイルの大きさ</th><th>工法</th><th>塗り厚 (mm)</th></tr> <tr><td rowspan="2">・ 外装 タイル</td><td rowspan="2">小口以上二丁掛け以下</td><td>・ 密着張り</td><td>5~8</td></tr> <tr><td>・ 改良積み上げ張り</td><td>4~7</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ ユニットタイル</td><td rowspan="2">・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満</td><td>・ 改良圧着張り</td><td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td></tr> <tr><td>・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り</td><td>3~4 3~5</td></tr> </table>	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚 (mm)	・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8	・ 改良積み上げ張り	4~7	・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り	3~4 3~5																				
タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚 (mm)																																		
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8																																		
		・ 改良積み上げ張り	4~7																																		
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4																																		
		・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り	3~4 3~5																																		
(4.5.15)	<p>・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの配置 (本/m)</p>																																				
(4.2.2)(h) (4.5.16)	<p>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 ×) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 行わない)</p>																																				
○ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工法</th></tr> <tr><td rowspan="2">薄付け 仕上げ塗材</td><td rowspan="2">・ 外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>こて ローラー</td></tr> <tr><td rowspan="2">厚付け 仕上げ塗材</td><td rowspan="2">・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E</td><td>・ 吹き放し ・ 凸凹処理</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし</td><td>こて</td></tr> <tr><td rowspan="2">スタックコ コ状</td><td rowspan="2">・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E</td><td>・ 吹き放し ・ 凸凹処理</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し</td><td>こて ローラー</td></tr> </table>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け 仕上げ塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	こて ローラー	厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	スタックコ コ状	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し	こて ローラー														
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																		
薄付け 仕上げ塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け																																		
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	こて ローラー																																		
厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け																																		
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																																		
スタックコ コ状	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け																																		
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し	こて ローラー																																		
	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工法</th></tr> <tr><td rowspan="2">複層仕上 塗材</td><td rowspan="2">○ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ○ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE</td><td>○ ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>・ 凸凹処理</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td rowspan="2">可とう形 改修用 仕上げ塗材</td><td rowspan="2">・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE</td><td>・ 平たん状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>・ さざ波状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td rowspan="2">可とう形 改修用 仕上げ塗材</td><td rowspan="2">・ 可とう形改修塗材CE ・ 可とう形改修塗材RE</td><td>・ 平たん状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>・ さざ波状</td><td>吹付け</td></tr> </table> <p>・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタックコ以外の場合 材所要量 (K g/m²)</p>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	複層仕上 塗材	○ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ○ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	○ ゆず肌状	ローラー	・ 凸凹処理	吹付け	可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状	ローラー	・ さざ波状	吹付け	可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材CE ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状	ローラー	・ さざ波状	吹付け														
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																		
複層仕上 塗材	○ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ○ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	○ ゆず肌状	ローラー																																		
		・ 凸凹処理	吹付け																																		
可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状	ローラー																																		
		・ さざ波状	吹付け																																		
可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材CE ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状	ローラー																																		
		・ さざ波状	吹付け																																		

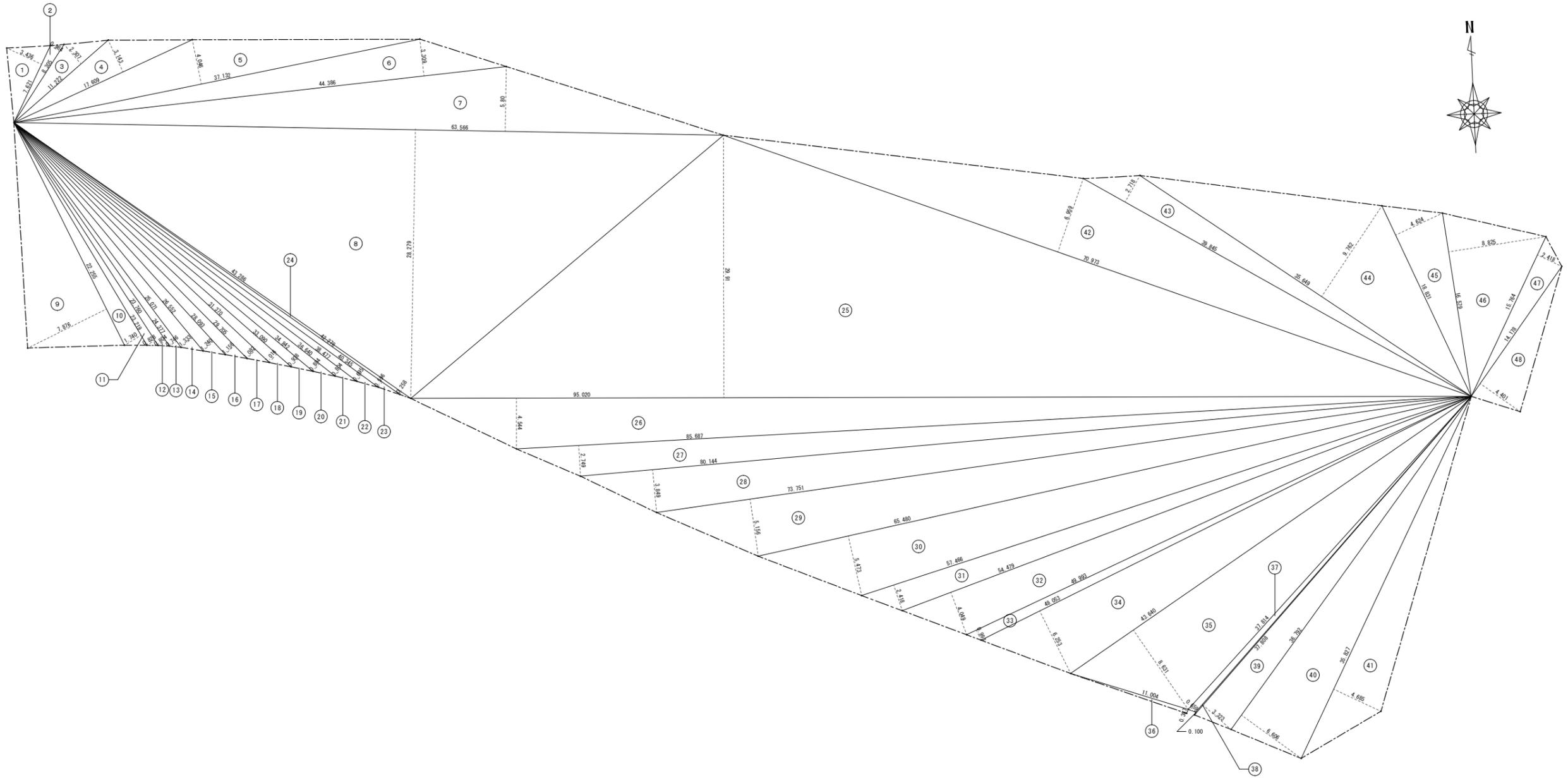
<p>(4.6.6) (表4.6.7)</p> <p>(表4.2.5) 複層仕上塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>○ 水系</td> <td>○ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p> <p>(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>30MPa～50MPa 外壁吹付部分、軒裏</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜剝離工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>10～15Mpa</td> </tr> <tr> <td>・ デッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4.6.4) 下地調整</p> <p>・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</p>	樹脂種類	溶媒種類	外 観	○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	工法	処理範囲	・ サンダー工法	30MPa～50MPa 外壁吹付部分、軒裏	・ 高圧水洗工法		・ 塗膜剝離工法		・ 水洗い工法	10～15Mpa	・ デッキブラシ		・ 高圧ポンプ		<p>9 鋼製建具</p> <p>鋼製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () ・ JIS G 3317 ・ Y08 ・ () ・ H2400又はW950の建具 ・ 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) <p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW950の建具 ・ 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) <p>1.1 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)</p> <p>ステンレス製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) <p>(5.6.3) 材料 ・ SUS304 ・ ()</p> <p>(5.6.4) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()</p> <p>(5.6.5) 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>1.2 建具用金物 (5.7.2)</p> <p>金物の見え掛かり部等の材質等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:) <p>マスターキー ○ 製作する (耐震工事との打合せ要) ・ 製作しない</p> <p>引渡用鍵箱 ○ 必要 ・ 不要</p> <p>1.3 自動ドア開閉装置 (5.8.2)</p> <p>開閉装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ○ (DSDL-2) <p>(5.8.3) センサの種類 (表5.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ○ (光線) <p>(5.8.3) (f) 凍結防止措置 ・ あり ○ なし</p> <p>1.4 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)</p> <p>自閉式上吊り引戸装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (表5.9.1)による ・ () <p>1.5 重量シャッター (5.10.2)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>開閉機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 <p>一般重量シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける ・ 設けない ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ () <p>開閉形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部電動式 (手動併用) ○ 手動式 <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>スラットの材質及び形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () ・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ () <p>1.7 オーバーヘッドドア (5.12.2) (5.12.3)</p> <p>型式及び機構</p> <p>セクション材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 <p>収納形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 <p>ガイドレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 <p>6 ガラス材料、工法 (5.13.2) (a) (5.13.4)</p> <p>5.13.2 (a) ガラス留め材 (5.13.2) (b)</p> <p>5.13.2 (b) ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)</p>	<p>2.1 ガラスブロック積み (5.13.5)</p> <p>ガラスブロック</p> <p>表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する</p> <p>6 内装改修工事</p> <p>1 一般事項 (6.1.3) (b)</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改 修 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 天井</td> <td>○ 図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>○ 壁</td> <td>○ 図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>○ 床</td> <td>○ 図示 ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.1.3) (c) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示 ・ () <p>(6.1.3) (f) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示 ・ () <p>2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2) (a) (1) (6.2.2) (a) (2) (6.2.2) (c)</p> <p>既存床仕上げ材の除去等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない <p>(6.2.2) (a) (1) 合成樹脂塗料床材の除去等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 <p>(6.2.2) (c) 改修後の床の清掃範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ () <p>3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ () <p>4 木下地等 (6.5.1) (c) (表6.5.1) (6.5.2) (a) (1) (表6.5.2)</p> <p>(6.5.2) (b) (1) 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>製材</p> <p>「製材の日本農林規格」による製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.2) (b) (2) 「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <p>(iv) 樹種 寸法 防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(表6.5.3) 造作材の材質の品質 ・ A種 ・ ()</p> <p>樹種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>炭素材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.2) (b) (2) (iv) 代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない</p> <p>(6.5.2) (c) (i) 造作用集成材</p> <p>(6.5.2) (b) (ii) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.2) (c) (ii) 「集成材の日本農林規格」以外の製材</p> <p>樹種 寸法 見付け材面の品質及び厚さ ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()</p> <p>(6.5.2) (d) (i) 造作用単板積層材</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>厚 さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.2) (d) (ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <p>厚さ 表面の品質 防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()</p> <p>(6.5.2) (e) ・ 床張り用合板等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.5) (a) ・ 防蟻、防蟻処理</p> <p>適用部位 図示 (図面番号)</p> <p>保存処理性能区分 ()</p> <p>薬剤の塗布等の処理方法 ()</p> <p>ボード原料接着剤への防蟻、防蟻処理 ()</p>	改修部分	改 修 範 囲	○ 天井	○ 図示 ・ ()	○ 壁	○ 図示 ・ ()	○ 床	○ 図示 ・ ()	部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		部位	樹種	炭素材										部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)			部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ														
	樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																																																																																						
○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
・ シリカ系	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
	・ 水 系	・ 艶無																																																																																																																																							
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																							
工法	処理範囲																																																																																																																																								
・ サンダー工法	30MPa～50MPa 外壁吹付部分、軒裏																																																																																																																																								
・ 高圧水洗工法																																																																																																																																									
・ 塗膜剝離工法																																																																																																																																									
・ 水洗い工法	10～15Mpa																																																																																																																																								
・ デッキブラシ																																																																																																																																									
・ 高圧ポンプ																																																																																																																																									
改修部分	改 修 範 囲																																																																																																																																								
○ 天井	○ 図示 ・ ()																																																																																																																																								
○ 壁	○ 図示 ・ ()																																																																																																																																								
○ 床	○ 図示 ・ ()																																																																																																																																								
部材名称	種 別																																																																																																																																								
下地材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																								
造作材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																								
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																																																																																						
下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
部位	樹種	炭素材																																																																																																																																							
部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ																																																																																																																																						
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)																																																																																																																																								
部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																						
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																							
部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																			

<p>(6.5.5) (b)</p> <p>⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</p> <p>(6.6.4)</p> <p>⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.2) (6.6.4) (a) (1)</p> <p>⑦ ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2) (a) (6.8.2) (b)</p> <p>(6.8.2) (c) (1)</p> <p>(6.8.2) (c) (2)</p> <p>(6.8.2) (c) (3)</p> <p>(6.8.2) (c) (4)</p> <p>(6.8.2) (e)</p> <p>(6.8.3) (a)</p> <p>(6.8.3) (b)</p> <p>⑧ カーペット敷き (6.9.3) (a) (表6.9.1)</p> <p>(6.9.3) (b) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3) (c)</p> <p>(6.9.3) (d) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3) (e)</p> <p>(6.9.3) (e)</p>	<p>・ 防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 () ・ 屋外 ・ 25形 ()</p> <p>形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ○ ふところ≧1.5m ○ (6.6.4) (h) ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ>3m ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない</p> <p>既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う (図示 (図面番号:)) ○ 行わない</p> <p>耐震天井 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>スタッド、ランナーなどの種類 ○ 図示 (図面番号:)</p> <p>材料 ○ ビニル床シート 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FS</td> <td>マーブル</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ビニル床タイル 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 帯電防止床シート、床タイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 防滑性床シート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ゴム床タイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 下地 ○ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ()</p> <p>熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>ビニル床シート張り ・ 縫じゅうたん</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td> <td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ニードルパンチカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 接着工法</td> <td>○ カットパイル ・ ループパイル</td> <td>○ 500×500 ・ ()</td> <td>○ 6.5 ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示 (図面番号:))</p> <p>敷き方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平場</th> <th>階段部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マーブル	2.0mm		種類	厚さ	備考				種類	性能	厚さ	備考					種類	形状	備考				種類	性能	厚さ	備考					種類	性能	厚さ	備考					種類	厚さ	備考				種類	パイル形状	帯電性	品質の程度	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下		種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度	○ 接着工法	○ カットパイル ・ ループパイル	○ 500×500 ・ ()	○ 6.5 ・ ()	・ ()	平場	階段部分	○ 市松敷き ・ 模様流し ()	・ 市松敷き ・ 模様流し ()
	種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																					
	FS	マーブル	2.0mm																																																																																						
	種類	厚さ	備考																																																																																						
	種類	性能	厚さ	備考																																																																																					
	種類	形状	備考																																																																																						
	種類	性能	厚さ	備考																																																																																					
	種類	性能	厚さ	備考																																																																																					
	種類	厚さ	備考																																																																																						
種類	パイル形状	帯電性	品質の程度																																																																																						
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()																																																																																						
パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																					
・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()																																																																																					
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																							
	・ 人体帯電圧 3KV以下																																																																																								
種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																					
○ 接着工法	○ カットパイル ・ ループパイル	○ 500×500 ・ ()	○ 6.5 ・ ()	・ ()																																																																																					
平場	階段部分																																																																																								
○ 市松敷き ・ 模様流し ()	・ 市松敷き ・ 模様流し ()																																																																																								

<p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3) (b) (1) (表6.10.4) (6.10.3) (b) (2) (表6.10.4) ~ (表6.10.8)</p> <p>10 フローリング張り (6.11.6) (表6.11.6)</p> <p>(6.11.4) (表6.11.2)</p> <p>(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5) (表6.11.6)</p> <p>(6.11.7) (2)</p> <p>11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)</p> <p>⑫ セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>(6.13.2) (h)</p> <p>(6.13.3) (e) (3)</p> <p>(6.13.3) (g) (1) (表6.13.5)</p> <p>⑬ 壁紙張り (6.14.2)</p> <p>⑭ モルタル塗り (6.15.3) (6.15.6) (6.11.6)</p> <p>⑮ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)</p> <p>(6.16.3) (a) (3)</p> <p>(6.16.5)</p> <p>16 セルフレベリング 材塗り (6.17.2)</p> <p>17 断熱材 (9.5.2)</p>	<p>弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し層仕上げ ・ 厚膜流し層仕上げ (平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 防滑仕上げ</p> <p>・ モルタル埋込み工法 フローリングブロック (単位:mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>辺材部分には、防虫処理を行う</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>種 別</th> <th>樹 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ</th> <th>大 き さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td> <td>・ A種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td> <td>・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット (直張用)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ()</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 空き室工事後、焼付けに対する養生をすること。 ・ 建材費 K T-III</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ セッコウボード</td> <td></td> <td>壁 ・ 9.5 (準不燃) ○ 12.5 (準不燃) 天井 ○ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧セッコウボード</td> <td>○ トラパーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>○ 9.5 (準不燃) ○ 9.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板</td> <td>○ 普通 ・ 立体模様</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプ II 0.8FK</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ シーキングセッコウボード</td> <td></td> <td>○ 12.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 強化セッコウボード</td> <td></td> <td>○ 21 (不燃)</td> </tr> </tbody> </table> <p>遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</p> <p>合板類の張付け ・ A種 ○ B種</p> <p>セッコウボードの目地工法 ・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>品 質 の 程 度</th> <th>防 火 性 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内部壁・天井</td> <td>A A級</td> <td>○ 不燃 ○ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>既製目地材 ・ 使用する (形状)</p> <p>床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 緩衝材 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>伸縮調整目地 位置 ○ 図示 (図面番号:)</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">耐薬品性</th> <th rowspan="2">特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類磁器</th> <th>II類せう器</th> <th>III類陶器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポーチ床</td> <td>300角</td> <td>圧着張</td> <td>屋外床</td> <td>○</td> <td>()</td> <td>()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>二丁掛</td> <td>圧着張</td> <td>屋外壁</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない コンクリート素地面の目荒らし工法 ・ 行う</p> <p>・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 () mm</p> <p>断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	厚さ	寸法	備考	・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う	・ ()				材 料	種 別	樹 種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種		材 種	樹 種	厚 さ	大 き さ	・ フローリングボード (直張用)				・ フローリングブロック (直張用)				・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種			・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種			・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種			・ モザイクパーケット (直張用)	・ ()	・ ()	・ ()	材 種	種 別	厚 さ (mm)	○ セッコウボード		壁 ・ 9.5 (準不燃) ○ 12.5 (準不燃) 天井 ○ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)	○ 化粧セッコウボード	○ トラパーチン模様 ・ 木目模様	○ 9.5 (準不燃) ○ 9.5 (不燃)	○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9.5 (準不燃)	・ けい酸カルシウム板	・ タイプ II 0.8FK		○ シーキングセッコウボード		○ 12.5 (準不燃)	○ 強化セッコウボード		○ 21 (不燃)	施 工 箇 所	品 質 の 程 度	防 火 性 能	内部壁・天井	A A級	○ 不燃 ○ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無	I類磁器	II類せう器	III類陶器	ポーチ床	300角	圧着張	屋外床	○	()	()					○	外壁	二丁掛	圧着張	屋外壁	○							○	種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ 硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム			
	種類	厚さ	寸法	備考																																																																																																																																										
	・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う																																																																																																																																										
	・ ()																																																																																																																																													
	材 料	種 別	樹 種																																																																																																																																											
	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()																																																																																																																																											
	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																												
	材 種	樹 種	厚 さ	大 き さ																																																																																																																																										
	・ フローリングボード (直張用)																																																																																																																																													
	・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																													
	・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種																																																																																																																																												
	・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種																																																																																																																																												
	・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種																																																																																																																																												
	・ モザイクパーケット (直張用)	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																										
	材 種	種 別	厚 さ (mm)																																																																																																																																											
○ セッコウボード		壁 ・ 9.5 (準不燃) ○ 12.5 (準不燃) 天井 ○ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)																																																																																																																																												
○ 化粧セッコウボード	○ トラパーチン模様 ・ 木目模様	○ 9.5 (準不燃) ○ 9.5 (不燃)																																																																																																																																												
○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																												
・ けい酸カルシウム板	・ タイプ II 0.8FK																																																																																																																																													
○ シーキングセッコウボード		○ 12.5 (準不燃)																																																																																																																																												
○ 強化セッコウボード		○ 21 (不燃)																																																																																																																																												
施 工 箇 所	品 質 の 程 度	防 火 性 能																																																																																																																																												
内部壁・天井	A A級	○ 不燃 ○ 準不燃																																																																																																																																												
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																												
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																												
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無																																																																																																																																			
				I類磁器	II類せう器	III類陶器																																																																																																																																								
ポーチ床	300角	圧着張	屋外床	○	()	()					○																																																																																																																																			
外壁	二丁掛	圧着張	屋外壁	○							○																																																																																																																																			
種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																											
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																														
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																														
・ 硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																														
・ フェノールフォーム																																																																																																																																														

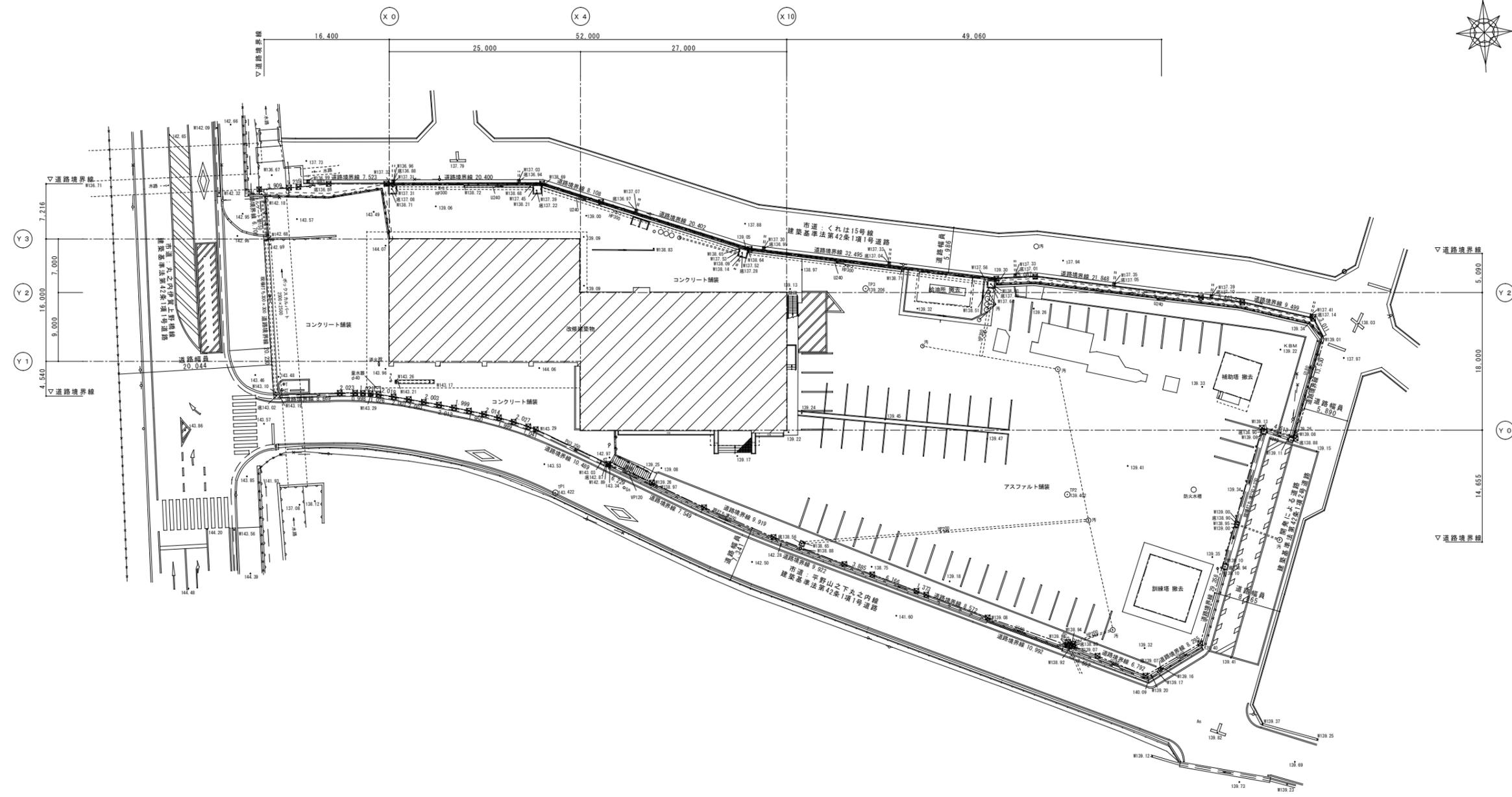
<p>(9.5.3)</p> <p>⑦ 塗装 改修 工事</p> <p>1 材料 (7.1.3) (b)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <p>③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (表7.3.1) (7.3.3) (表7.3.3) ~ (表7.3.4)</p> <p>④ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1) ~ (表7.4.4)</p> <p>5 クリヤラッカー 塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1)</p> <p>6 フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE) (7.6.2) ~ (7.6.4)</p> <p>7 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)</p> <p>⑧ 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3)</p> <p>9 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G) (7.9.2) ~ (7.9.5) (表7.9.1) ~ (表7.9.4)</p> <p>⑩ 合成樹脂エマル ジョンペイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)</p> <p>11 合成樹脂エマルシ ョン模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1) ~ (表7.11.3)</p> <p>12 ウレタン樹脂ワニス 塗り (UC) (7.13.2) (表7.13.1)</p> <p>13 ラッカーエナメル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)</p> <p>14 オイルワニス塗り (OS) (7.14.2)</p> <p>15 木造保護塗料塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1)</p>	<p>断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種1</td> <td>()</td> <td>・ 窓回り等の断熱材修補部分、ルーフトレン回りの床下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種2</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種3</td> <td>()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてRB種の場合) ・ 図示 (図面番号:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ モルタル、プaster面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ セッコウボード、その他ボード面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>錆止め塗料種別 ○ 鉄鋼面 屋外 A種 屋内 ・ A種 ・ B種</p> <p>・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>塗料種別 ・ 1種 ・ ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 木部 ・ A種 ・ B種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下 地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄面及び垂鉛めっき鋼面</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p> <p>上塗り等級 ・ 1級 (フッ素系) ○ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (シリコン系)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ()</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p> <p>種別 ・ (表7.14.1参照)</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p>	種類	厚さ (mm)	施 工 箇 所	・ A種1	()	・ 窓回り等の断熱材修補部分、ルーフトレン回りの床下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種2	()		・ A種3	()		下 地	種 別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		○ モルタル、プaster面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		下 地	種 別	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	○ 鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種	・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	種 別	適 用	下 地		・ 木部	(表7.6.1参照)	・ 鉄面及び垂鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)	下 地	種 別	鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種	垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	下 地	種 別	コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	垂鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
	種類	厚さ (mm)	施 工 箇 所																																																																				
	・ A種1	()	・ 窓回り等の断熱材修補部分、ルーフトレン回りの床下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																																																				
	・ A種2	()																																																																					
	・ A種3	()																																																																					
	下 地	種 別	ひび割れ部の補修																																																																				
	・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																					
	○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																					
	・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																					
	○ モルタル、プaster面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																				
	○ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																				
	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																				
	○ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																					
	下 地	種 別																																																																					
	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																					
○ 鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種																																																																						
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																						
種 別	適 用																																																																						
下 地																																																																							
・ 木部	(表7.6.1参照)																																																																						
・ 鉄面及び垂鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)																																																																						
下 地	種 別																																																																						
鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種																																																																						
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																						
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																						
下 地	種 別																																																																						
コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()																																																																						
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																						
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																						
垂鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																						





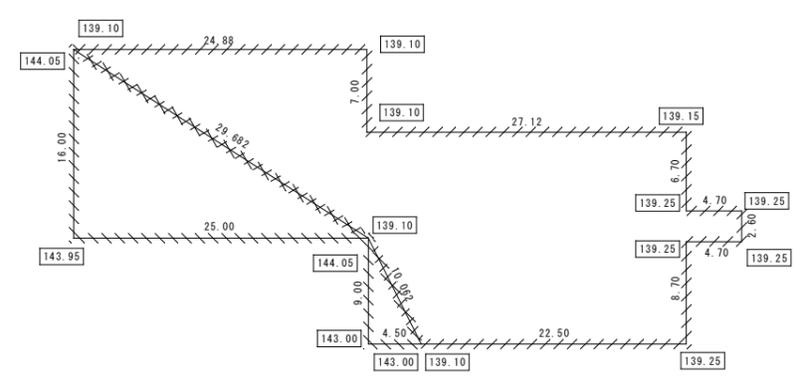
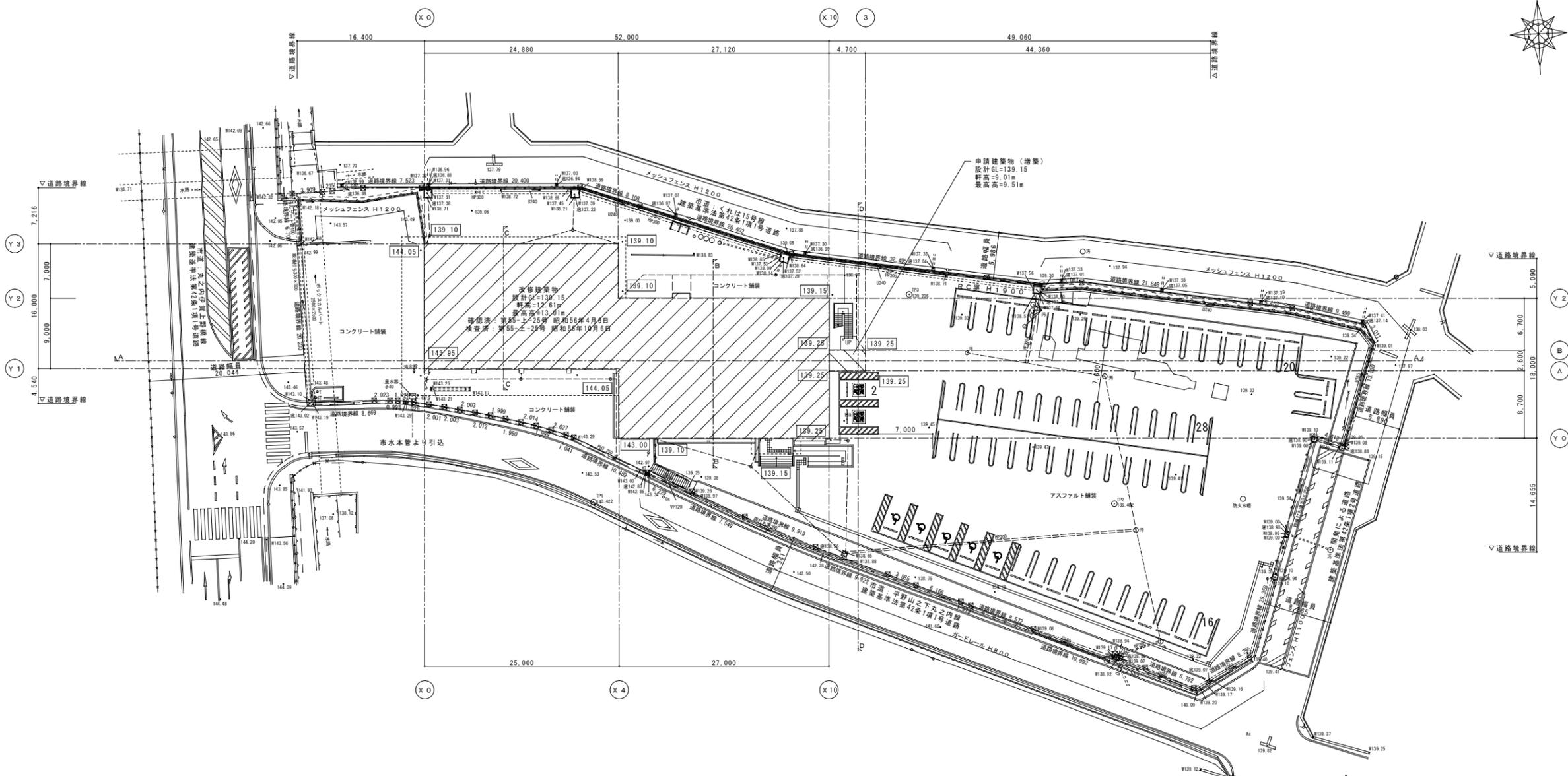
敷地求積図 1/200 (A1) 1/400 (A3)

敷地面積																			
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	7.621	3.436	26.185756	13.092878	⑭	26.552	1.333	35.393816	17.696908	⑳	85.687	2.749	235.553563	117.7767815	㉔	36.792	6.606	243.047952	121.523976
②	8.305	0.984	8.17212	4.08606	⑮	28.093	1.240	34.83532	17.41766	㉕	80.144	3.849	308.474256	154.237128	㉕	35.827	4.685	167.849495	83.9247475
③	11.222	2.307	25.889154	12.944577	⑯	29.705	1.156	34.33898	17.16949	㉖	73.751	5.156	380.260156	190.130078	㉖	70.973	6.959	493.901107	246.9505535
④	17.609	3.143	55.345087	27.6725435	⑰	31.370	1.082	33.94234	16.97117	㉗	65.480	5.473	358.37204	179.18602	㉗	39.845	2.718	108.29871	54.149355
⑤	37.132	4.046	150.236072	75.118036	⑱	33.090	1.016	33.61944	16.80972	㉘	57.466	2.418	138.952788	69.476394	㉘	35.649	9.762	348.005538	174.002769
⑥	44.386	3.309	146.873274	73.436637	⑲	34.842	0.938	32.681796	16.340898	㉙	54.479	4.049	220.585471	110.2927355	㉙	18.831	4.624	87.074544	43.537272
⑦	63.566	5.80	368.6828	184.3414	⑳	36.640	0.884	32.38976	16.19488	㉚	49.993	0.993	49.643049	24.8215245	㉚	16.579	8.825	146.309675	73.1548375
⑧	63.566	28.279	1797.582914	898.791457	㉑	38.477	0.804	30.935508	15.467754	㉛	49.053	6.253	306.728409	153.3642045	㉛	15.764	2.418	38.117352	19.058676
⑨	22.255	7.876	175.28038	87.64019	㉒	40.345	0.695	28.039775	14.0198875	㉜	43.640	8.631	376.65684	188.32842	㉜	14.178	4.401	62.397378	31.198689
⑩	23.219	1.740	40.40106	20.20053	㉓	42.278	0.596	25.197688	12.598844	㉝	11.004	0.387	4.258548	2.129274					
⑪	23.760	0.828	19.67328	9.83664	㉔	43.286	0.258	11.167788	5.583894	㉞	37.814	0.659	24.919426	12.459713					
⑫	24.377	0.804	19.599108	9.799554	㉕	95.020	29.91	2842.0482	1421.0241	㉟	37.808	0.100	3.7808	1.8904					
⑬	25.071	0.746	18.702966	9.351483	㉖	95.020	4.544	431.77088	215.88544	㊱	37.808	3.323	125.635984	62.817992					
															合計				5,343.90m2



< 現況 > 配置図 1/300 (A.1)
1/600 (A.3)

特記	工事名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(建築主体工事)		承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 配置図	縮尺 1/300 (A.1) 1/600 (A.3)	図面番号 A-11		



<平均地盤面1>
 ※計算における基準高さを139.10とする

	面積	周長
a	0 × 24.88	0 24.88
b	0 × 7.00	0 7.00
c	0.05 × 27.12 × 0.5	0.678 27.12
d	(0.05+0.15) × 6.70 × 0.5	0.67 6.70
e	0.15 × 4.70	0.705 4.70
f	0.15 × 2.60	0.39 2.60
g	0.15 × 4.70	0.705 4.70
h	0.15 × 8.70	1.305 8.70
i	0.15 × 22.50 × 0.5	1.6875 22.50
n	0 × 10.062	0 10.062
o	0 × 29.682	0 29.682
合計	6.1405	148.644

6.1405/148.644=0.041
 平均地盤面=基準高さ+0.04=139.14
 したがって、設計GL(139.15)より-0.01(139.14)が平均地盤面1となる。

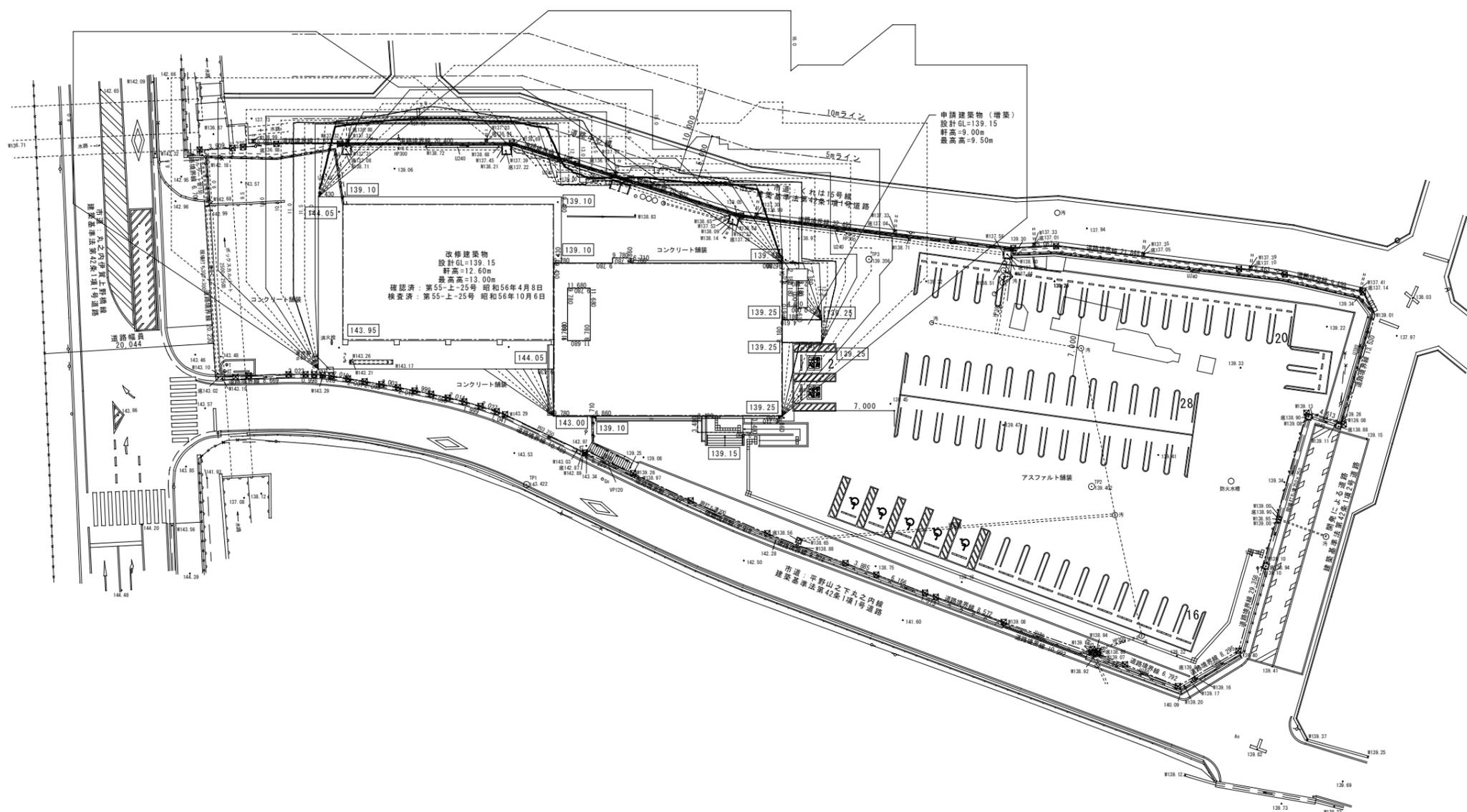
<平均地盤面2>
 ※計算における基準高さを142.10とする

	面積	周長
j	(1.95+1.85) × 16.00 × 0.5	30.40 16.00
k	(1.85+1.95) × 25.00 × 0.5	47.50 25.00
l	(1.95+0.9) × 9.00 × 0.5	12.825 9.00
m	0.90 × 4.50	4.05 4.50
n	(0.90+1.95) × 10.062 × 0.5	14.33835 10.062
o	1.95 × 29.682	57.8799 29.682
合計	166.99325	94.244

166.99325/94.244=1.77
 平均地盤面=基準高さ+1.77=143.87
 したがって、設計GL(139.15)より+4.72(143.87)が平均地盤面2となる。

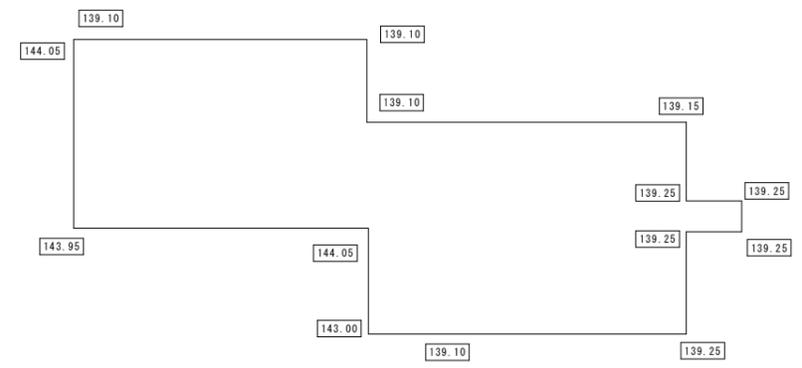
<改修>配置図 1/300(A1) 1/600(A3)

特記	工事名 (仮)伊賀市総合福祉会館改修工事(建築主体工事)	承認	管理建築士
図名	<改修>配置図・平均地盤面算定図	縮尺	1/300(A1) 1/600(A3)
		図番	A-12
		製図者	
		製図日	



日影計算データ

処理物件名	伊賀市総合福祉会館
真北方位	-5° 00' (60 進法)
緯度	34° 46' (60 進法)
計算日	冬至
計算時間帯	8時~16時
受影面高さ	4.0m
規制時間	5m: 5時間 10m: 3時間



影長率表 [緯度 = 34.77] [冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長率	X倍率	Y倍率
8:00	8°37'	-53°28'	6.598	-5.302	3.927
8:30	13°24'	-48°26'	4.196	-3.140	2.784
9:00	17°49'	-42°57'	3.112	-2.120	2.278
9:30	21°46'	-36°58'	2.504	-1.506	2.000
10:00	25°12'	-30°28'	2.126	-1.078	1.832
10:30	27°59'	-23°26'	1.882	-0.748	1.727
11:00	30°04'	-15°55'	1.728	-0.474	1.661
11:30	31°21'	-8°04'	1.642	-0.230	1.625
12:00	31°47'	0°00'	1.614	0.000	1.614
12:30	31°21'	8°04'	1.642	0.230	1.625
13:00	30°04'	15°55'	1.728	0.474	1.661
13:30	27°59'	23°26'	1.882	0.748	1.727
14:00	25°12'	30°28'	2.126	1.078	1.832
14:30	21°46'	36°58'	2.504	1.506	2.000
15:00	17°49'	42°57'	3.112	2.120	2.278
15:30	13°24'	48°26'	4.196	3.140	2.784
16:00	8°37'	53°28'	6.598	5.302	3.927

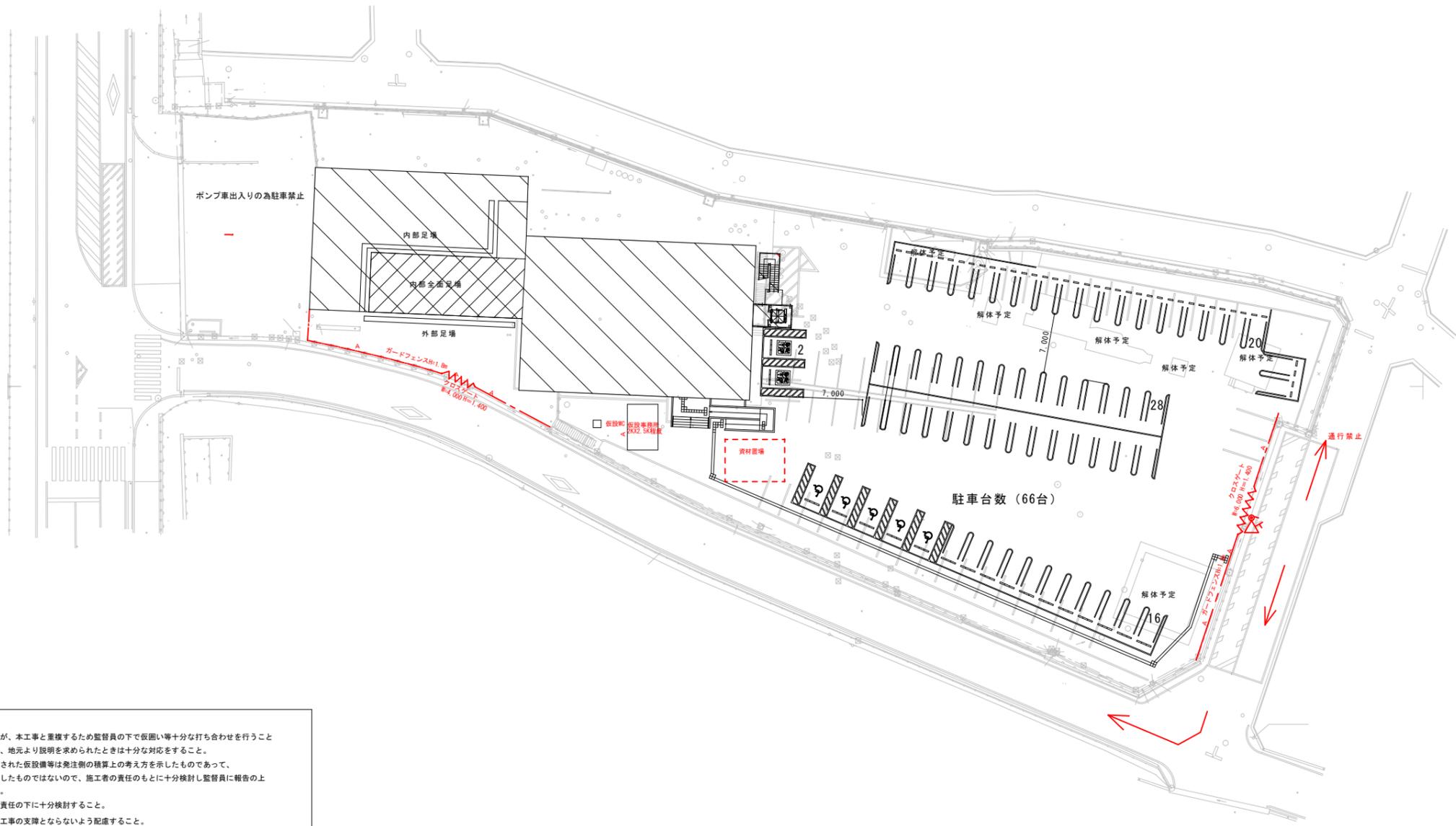
< 日影規制による平均地盤面 1 >
※計算における基準高さを139.10とする

面積	周長	面積	周長
① 0 × 24.88	0	① 0.15 × 22.50 × 0.5	1.6875 22.50
② 0 × 7.00	0	② 3.90 × 4.50	17.55 4.50
③ 0.05 × 27.12 × 0.5	0.678 27.12	③ (3.90+4.95) × 9.00 × 0.5	39.825 9.00
④ (0.05+0.15) × 6.70 × 0.5	0.67 6.70	④ (4.95+4.85) × 25.00 × 0.5	122.50 25.00
⑤ 0.15 × 4.70	0.705 4.70	⑤ (4.85+4.95) × 16.00 × 0.5	78.40 16.00
⑥ 0.15 × 2.60	0.39 2.60		
⑦ 0.15 × 4.70	0.705 4.70		
⑧ 0.15 × 8.70	1.305 8.70	合計	264.4155 163.40

264.4155/163.40=1.61
平均地盤面=基準高さ+1.61=140.71
したがって、設計GL (139.15) より+1.56 (140.71) が日影規制における平均地盤面となる。

< 改修 > 日影図 1/300 (A1) 1/600 (A3)

<table border="1"> <tr><td>特記</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	特記								<table border="1"> <tr><td>工事名</td><td>(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)</td></tr> <tr><td>図名</td><td>< 改修 > 日影図</td></tr> <tr><td>縮尺</td><td>縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)</td></tr> <tr><td>図番</td><td>A-13</td></tr> </table>	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)	図名	< 改修 > 日影図	縮尺	縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)	図番	A-13	<table border="1"> <tr><td>承認</td><td></td></tr> <tr><td>管理建築士</td><td></td></tr> <tr><td>図</td><td></td></tr> <tr><td>製図者</td><td></td></tr> <tr><td>製図日</td><td></td></tr> </table>	承認		管理建築士		図		製図者		製図日	
特記																												
工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)																											
図名	< 改修 > 日影図																											
縮尺	縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)																											
図番	A-13																											
承認																												
管理建築士																												
図																												
製図者																												
製図日																												



- 留意事項—
- ※1) 訓練機他の解体工事が、本工事と重複するため監督員の下で仮囲い等十分な打ち合わせを行うこと
 - ※2) 工事車両の進入路等、地元より説明を求められたときは十分な対応をすること。
 - ※3) 本仮設参考図に記載された仮設機等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、施工条件として指定したものではありませんので、施工者の責任のもとに十分検討し監督員に報告の上施工するものとする。
 - ※4) 仮設計画は施工者の責任の下に十分検討すること。
 - ※5) 作業員の駐車は解体工事の支障とならないよう配慮すること。
 - ※6) 資材搬入、搬出及び適宜に交通誘導員を配置して誘導すること。
 - ※7) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。
 - ※8) 東側ゲート車両の出入りは、南進行方向のみ行うこと。

仮 設 計 画
 1/300 (A1)
 1/600 (A3)

凡例	
	工事用車両・資材搬入・搬出ルート
	ガードフェンス H=1800 (上部ネット、下部目隠し) 西側 68m 東側 24m
	クロスゲート H1400 西側 4m 東側 6m
	交通誘導員

内部仕上表 1

階	室名	現況 改修後	室名札	内装制限	法的規制		床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
					居室種別											
	水防倉庫	現況		難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			水防倉庫
					非居室	仕上										
	資材庫1	改修後		難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			資材庫1
					非居室	仕上										
	資材庫	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			水防倉庫
					非居室	仕上										
	資材庫2	改修後	○	難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			資材庫2
					非居室	仕上										
	整備室	現況		難燃	自然排煙	下地	ビニル床シート 厚2.8	ソフト巾木	60	▷	モルタル金ゴテ押え EP吹付(ゆずはだ模様)	LGS、石膏ボード 厚9 ロックウール吸音板 厚9	3400	塩ビ製	木製上がり框	整備室
					居室	仕上										
					—	下地										
	倉庫1	改修後		難燃	—	下地	現況のまま	現況のまま	60	▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	木製上がり框: 現況のまま	倉庫1
					非居室	仕上										
					自然排煙	下地										
	救急車輦点検室	現況		準不燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			救急車輦点検室
					居室	仕上										
	倉庫	改修後		難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			倉庫
					非居室	仕上										
	充填室	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			充填室
					非居室	仕上										
	倉庫2	改修後	○	難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			倉庫2
					非居室	仕上										
	油庫	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			油庫
					非居室	仕上										
	倉庫3	改修後	○	難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			倉庫3
					非居室	仕上										
	部品庫	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	▷		▷	防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し	4730			部品庫
					非居室	仕上										
	部品庫1	改修後	○	難燃	—	下地	現況のまま	▷		▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま			部品庫1
					非居室	仕上										
	男子更衣室	現況		難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	100	▷	防水モルタル金ゴテ押え EP吹付(ゆずはだ模様)	LGS、石膏ボード 厚9 ロックウール吸音板 厚9	2500	塩ビ製		男子更衣室
					非居室	仕上										
	部品庫2	改修後		難燃	—	下地	現況のまま	現況のまま	100	▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま		部品庫2
					非居室	仕上										
	女子更衣室	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	100	▷	石膏ボード 厚12 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去 ロックウール吸音板 厚9 撤去	2300	塩ビ製 撤去		女子更衣室
					非居室	仕上										
	控え室	改修後		難燃	—	下地	現況のまま	ソフト巾木	100	▷	下地調整 ビニルクロス	下地調整 化粧石膏ボード 厚9.5	2300	塩ビ製		控え室
					非居室	仕上										
	湯沸室	現況		難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 ビニル床シート 厚2.8 撤去	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え EP吹付(ゆずはだ模様)	LGS 石膏ボード 厚9、OP塗	2300	塩ビ製	流し台 撤去、ガス台 撤去、吊戸棚 撤去 アコーディオンカーテン 撤去	湯沸室
					居室	仕上										
					—	下地										
	湯沸室	改修後		難燃	—	下地	下地調整 モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	SUS巾木	60	▷	既存仕上の上、LGS、耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	現況のまま 下地調整、EP塗	現況のまま	現況のまま	ミニキッチン W1500 三方枠: SUS 210×25 壁見切: ABS樹脂ジョイナー	湯沸室
					非居室	仕上										
					—	下地										
	書庫	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚12 EP吹付(ゆずはだ模様)	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚12 EP吹付(ゆずはだ模様)	LGS 石膏ボード 厚9、OP塗	2500	塩ビ製 撤去	木製書架レール 撤去	書庫
					非居室	仕上										
	会議室	改修後	○	不燃	告四号ニ(4)	下地	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100	▷	現況のまま 下地調整、EP塗	現況のまま 下地調整、EP塗	現況のまま	現況のまま	床見切: W25 厚3 SUS H L	会議室
					居室	仕上										
	印刷室	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.8 撤去	ソフト巾木 撤去	100	▷	外壁面・柱型: モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚12 ビニルクロス 撤去	LGS 石膏ボード 厚9、OP塗 撤去	2500	塩ビ製 撤去	床上木製架台 撤去	印刷室
					非居室	仕上										
	印刷室	改修後	○	難燃	—	下地	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100	▷	下地調整 ビニルクロス	現況のまま 下地調整、EP塗	現況のまま	塩ビ製	床見切: W25 厚3 SUS H L	印刷室
					非居室	仕上										
	事務室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え 一部 モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚12 ステールパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去 ロックウール吸音板 厚9 撤去	2700	塩ビ製 撤去	アルミブラインド5ヶ所 撤去、時計 撤去、カウンター扉・下枠 撤去 ブラインドボックス: W120×H150ラワン 厚24 OS塗 撤去	事務室
					居室	仕上										
	事務室1	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整 一部 モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	100	▷	外壁面(H800): LGS、 石膏ボード 厚12.5 外壁面(H800): ビニルクロス	LGS 化粧石膏ボード 厚9.5 ビニルクロス	2700	塩ビ製	ローカウンター、タレ壁H600: 網入ガラス 厚6.8 木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 3ヶ所 アルミ縦線 床見切: W25 厚3 SUS H L	事務室1
					居室	仕上										
	玄関	現況	準不燃	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 磁器質タイル 撤去 ビニル床シート 厚2.8 撤去	▷		▷	モルタル金ゴテ押え 2丁掛けタイル	LGS、石膏ボード 厚9 撤去 ロックウール吸音板 厚9 撤去	2550	塩ビ製 撤去	上がり框: テラゾブロック 撤去	玄関
					非居室	仕上										
	玄関	改修後	準不燃	難燃	—	下地	下地調整 ワイヤメッシュφ150角、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	▷		▷	現況のまま 既存仕上クリーニング	下地調整 化粧石膏ボード 厚9.5	2550	塩ビ製	アルミ靴拭マット: W1600×D900 マット枠: SUS W8×H25 SUS目皿: 75φ	玄関
					非居室	仕上										
	消防長室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 不燃ビニルクロス 撤去	2500	塩ビ製 撤去	ブラインドボックス: W120×H150ラワン 厚24 OS塗 撤去 収納棚 撤去、時計 撤去、天板: 木製 厚30 撤去	消防長室
					居室	仕上										
	相談室1	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整 一部 LGS、石膏ボード 厚12.5	ソフト巾木	100	▷	下地調整 ビニルクロス	現況のまま 下地調整	現況のまま	塩ビ製	木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 2ヶ所 SUS床見切: W30 厚1.5 H L、天板: アルミ 曲げ加工 H30	相談室1
					居室	仕上										
	相談室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え 一部 LGS、石膏ボード 厚12 撤去 アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え PS壁: LGS、石膏ボード 厚12 撤去 ステールパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 不燃ビニルクロス 撤去	2500	塩ビ製 撤去	カーテンボックス: W120×H150ラワン 厚24 OS塗 撤去 時計 撤去、木製縦線 撤去	相談室
					居室	仕上										
	相談室2	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整 一部 LGS、石膏ボード 厚12.5	ソフト巾木	100	▷	下地調整 ビニルクロス	現況のまま 下地調整	現況のまま	塩ビ製	SUS床見切: W30 厚1.5 H L、アルミ縦線	相談室2
					居室	仕上										
	廊下・EVホール	現況	準不燃	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 ビニル床シート 厚2.8 撤去	ソフト巾木 撤去	100	▷	モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚12 一部撤去 ステールパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去 ロックウール吸音板 厚9 撤去	2500	塩ビ製 撤去	防煙タレ壁: 網入ガラス H375 1ヶ所 撤去 防煙タレ壁: 網入ガラス H400 1ヶ所 撤去 黒板: W1800×H900 撤去 掲示板: W1800×H900 2ヶ所 撤去	廊下・EVホール
					非居室	仕上										
	廊下・EVホール	改修後	準不燃	難燃	—	下地	下地調整 コンクリート 厚120 一部 LGS、石膏ボード 厚12.5	ソフト巾木	100	▷	下地調整 ビニルクロス	LGS 化粧石膏ボード 厚9.5	2500	塩ビ製	EXP. J	廊下・EVホール
					非居室	仕上										

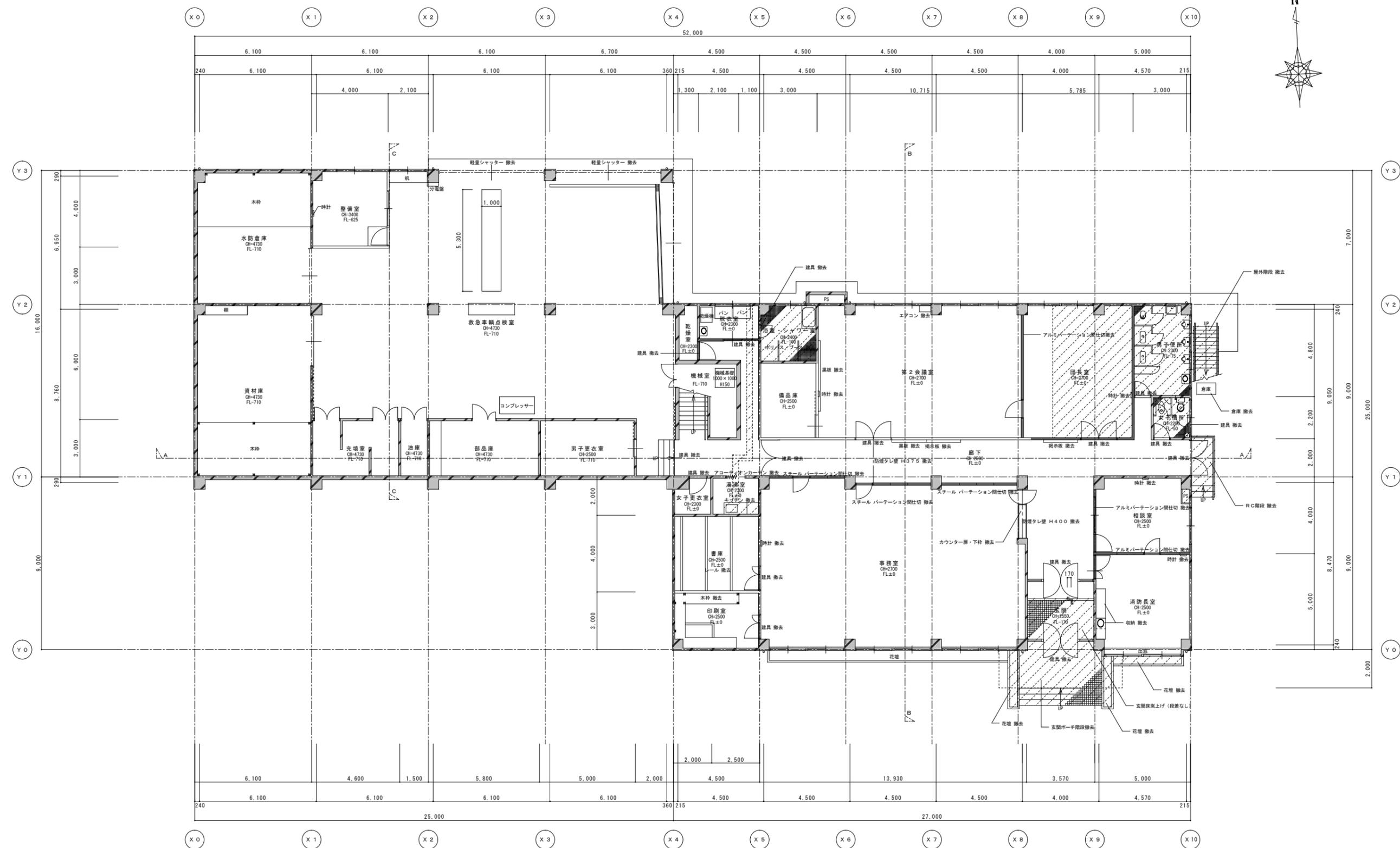
内部仕上表 2

階	室名	現況 改修後	室名札	内装制限	法的規制		床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
					居室種別											
1	機械室	改修後		雑居	下地											機械室
					仕上	モルタル金ゴテ押え										
1	乾燥室	改修後		雑居	下地											乾燥室
					仕上	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え									
1	脱衣室	改修後		雑居	下地											脱衣室
					仕上	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 LGS、石膏ボード 厚12 撤去	ソフト巾木 撤去	100								
1	女子更衣室	改修後	○	雑居	下地											女子更衣室
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	浴室・シャワー室	改修後		雑居	下地											浴室・シャワー室
					仕上	モルタル金ゴテ押え 磁器質モザイクタイル 撤去										
1	男子更衣室	改修後	○	雑居	下地											男子更衣室
					仕上	床上げコンクリート 厚100 ワイヤメッシュφ150角、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	備品庫	改修後		雑居	下地											備品庫
					仕上	モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.8	ソフト巾木	100								
1	書庫	改修後		雑居	下地											書庫
					仕上	モルタル金ゴテ押え 現況のまま	現況のまま	100								
1	第2会議室	改修後		雑居	下地											第2会議室
					仕上	モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.8 撤去	ソフト巾木 撤去	100								
1	団長室	改修後	○	雑居	下地											団長室
					仕上	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 ビニル床シート 厚2.8 撤去	ソフト巾木 撤去	100								
1	事務室2	改修後	○	雑居	下地											事務室2
					仕上	下地調整 一部 コンクリート 復旧、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	多目的便所	改修後	○	雑居	下地											多目的便所
					仕上	コンクリート 復旧、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	60								
1	男子便所	改修後	○	雑居	下地											男子便所
					仕上	コンクリート 復旧、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	60								
1	男子便所	改修後	○	雑居	下地											男子便所
					仕上	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 磁器質モザイクタイル 撤去										
1	女子便所	改修後	○	雑居	下地											女子便所
					仕上	コンクリート 復旧、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	SUS巾木	60								
1	女子便所	改修後	○	雑居	下地											女子便所
					仕上	モルタル金ゴテ押え 一部撤去 磁器質モザイクタイル 撤去										
1	掃除用具庫	改修後		雑居	下地											掃除用具庫
					仕上	コンクリート 復旧、モルタル金ゴテ押え ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	車庫	改修後		準不燃	下地											車庫
					仕上	防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え	100								
1	車庫	改修後		準不燃	下地											車庫
					仕上	現況のまま	現況のまま	100								
1	会議室1	改修後	○	雑居	下地											会議室1
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	会議室2	改修後	○	不燃	下地											会議室2
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	廊下	改修後		準不燃	下地											廊下
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
1	ホース収納庫	改修後		雑居	下地											ホース収納庫
					仕上	防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え	100								
1	資材庫	改修後		雑居	下地											資材庫
					仕上	現況のまま	現況のまま	100								
2	消毒室	改修後	○	雑居	下地											消毒室
					仕上	防水モルタル金ゴテ押え モザイクタイル ビニル床シート										
2	資材庫	改修後	○	雑居	下地											資材庫
					仕上	現況のまま	現況のまま	100								
2	女子仮眠室	改修後		雑居	下地											女子仮眠室
					仕上	木製床組 撤去 タイルカーペット 撤去	ソフト巾木 撤去	100								
2	活動室3	改修後		不燃	下地											活動室3
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								
2	男子便所	改修後	○	雑居	下地											男子便所
					仕上	モルタル金ゴテ押え 撤去 磁器質モザイクタイル 撤去										
2	洗面室	改修後	○	雑居	下地											洗面室
					仕上	床上げコンクリート、モルタル金ゴテ押え 撤去 磁器質モザイクタイル 撤去										
2	倉庫2	改修後		雑居	下地											倉庫2
					仕上	下地調整 ビニル床シート 厚2.0	ソフト巾木	100								

本館棟：内部仕上表1（材料は全て同等品とする。）

階	室名	現況 改修後	室名札	内装制限	法的規制 居室種別		床	巾木	H	壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
					自然排煙	居室										
1	仮眠室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚1.2 一部撤去	LGS 撤去	3.000	塩ビ製 撤去	カプセルベッド 9ヶ所 撤去、SUS床見切 撤去 アルミブラインド 6ヶ所 撤去 ブラインドボックス・W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去 天板：木製 厚3.0 撤去	仮眠室
					居室	仕上	タイルカーペット 撤去									
1	活動室1	改修後	○	不燃	告四号ニ(4)	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	下地調整 LGS、石膏ボード 厚1.2.5 移動間仕切	LGS	3.000	塩ビ製	木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 1ヶ所 天板：アルミ 曲げ加工 H30 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	活動室1
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	活動室2	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	下地調整 LGS、石膏ボード 厚1.2.5	LGS	3.000	塩ビ製	木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 2ヶ所 床見切：W30 厚1.5 SUS HL 移動間仕切 天板：アルミ 曲げ加工 H30	活動室2
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	食堂	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	LGS 一部撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.700	塩ビ製 撤去	カーテンボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去 木製配膳カウンター 厚3.5 撤去、天板：木製 厚3.0 撤去、時計 撤去	食堂
					居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	厨房	現況	○	難燃	—	下地	床上げコンクリート 撤去	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え、EP吹付 (ゆずはだ模様) 石膏ボード 厚1.2、EP吹付 (ゆずはだ模様) 一部撤去	LGS 撤去	2.500	塩ビ製 撤去	SUS流し台：W1350×H900×D450 撤去 SUS流し台：W1500×H950×D600 撤去 SUS吊棚 W1200×H600×D350 撤去 SUS吊棚：L1500×D350 撤去	厨房
					非居室	仕上	防水モルタル金ゴテ押え 撤去									
1	女子便所	改修後	○	難燃	—	下地	下地調整 一部モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	6.0	▷	設備壁(H1300)：LGS、 耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	LGS	2.500	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 H30 床見切：W25 厚3 SUS HL 壁見切：ABS樹脂ジョイナー 三方枠 SUS 1.45×2.5、直台：メラミン化粧板 厚2.5	女子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.0									
1	多目的便所	改修後	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	6.0	▷	設備壁(H1500)：LGS、 耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	LGS	2.500	塩ビ製	床見切：W25 厚3 SUS HL 壁見切：ABS樹脂ジョイナー、面台：メラミン化粧板 厚2.5	多目的便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.0									
1	男子便所	改修後	○	難燃	—	下地	下地調整 一部モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	6.0	▷	設備壁(H1300)：LGS、 耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	LGS	2.500	塩ビ製	開口塞ぎ：コンクリート、モルタル金ゴテ押え 三方枠：SUS 1.45×2.5、直台：メラミン化粧板 厚2.5 汚重石：W900×D600 3ヶ所、天板：アルミ 曲げ加工 H30 壁見切：ABS樹脂ジョイナー、床見切 W25 厚3 SUS HL	男子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.0									
1	事務室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚1.2 撤去 アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.700	塩ビ製 撤去	アルミブラインド 8ヶ所 撤去、備品 撤去 ブラインドボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去	事務室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	事務室1	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	外壁面・柱型：下地調整 間仕切：LGS、石膏ボード 厚12.5	LGS	2.700	塩ビ製	アルミ廻縁 天板：アルミ 曲げ加工 H30 木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 5ヶ所 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	事務室1
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	事務室2	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	LGS、石膏ボード 厚12.5	LGS	2.700	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 H30 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	事務室2
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	事務室3	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	LGS、石膏ボード 厚12.5	LGS	2.700	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 H30 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	事務室3
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	第1会議室	現況	○	不燃	告四号ニ(4)	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	柱型：モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚1.2 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS 撤去	2.700	塩ビ製 撤去	木製収納棚：W1100×H1800×D620 撤去 木製収納棚：W2260×H680×D620 撤去 ブラインドボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去 アルミブラインド 3ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚3.0 撤去	第1会議室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	専長室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚1.2 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.700	塩ビ製 撤去	木製収納棚：W1100×H1800×D620 撤去 木製収納棚：W2260×H680×D620 撤去 ブラインドボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去 アルミブラインド 3ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚3.0 撤去	専長室
					居室	仕上	カーペット 撤去									
1	事務室4	改修後	○	不燃	告四号ニ(4)	下地	下地調整	ソフト巾木	1.00	▷	外壁面・柱型：下地調整 LGS、石膏ボード 厚12.5	LGS	2.700	塩ビ製	床見切：W30 厚1.5 SUS HL 天板：アルミ 曲げ加工 H30	事務室4
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	機械室	現況	○	難燃	—	下地	鋼製床組 撤去	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	LGS 撤去	LGS 撤去	2.500	塩ビ製 撤去	アルミブラインド 3ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚3.0 撤去 ブラインドボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去	機械室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	司令室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	鋼製床組 撤去	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え LGS、石膏ボード 厚1.2 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.500	塩ビ製 撤去	アルミブラインド 3ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚3.0 撤去 ブラインドボックス：W120×H150ラワン 厚2.4 OS塗 撤去	司令室
					居室	仕上	カーペット 撤去									
1	仮眠室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	木製床組 撤去	タタミヨセ 撤去	1.00	▷	LGS 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.140	木製 撤去	木製見切 撤去、木製廻縁 撤去	仮眠室
					居室	仕上	タタミ 撤去									
1	便所	現況	○	難燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	100角タイル 撤去	LGS 撤去	2.230	塩ビ製 撤去	手摺・支柱：SUS φ42.7 段鼻：シンチュウ製ノンスリップ (ゴム入り) 撤去	便所
					非居室	仕上	磁器モザイクタイル 撤去									
1	司令室前室	現況	○	難燃	—	下地	木製床組 撤去	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	モルタル金ゴテ押え 洗面前(H1400)： 100角タイル 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.500	塩ビ製 撤去	手摺子 (既存部)：SUS φ19、手摺：塩ビ製 φ40 段鼻：SUS ノンスリップ、チェーン	司令室前室
					非居室	仕上	カーペット 撤去									
1	事務室5	改修後	○	不燃	告四号ニ(4)	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	1.00	▷	外壁面・柱型：下地調整 LGS、石膏ボード 厚12.5	LGS	2.700	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 H30 木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 2ヶ所 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	事務室5
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	事務室6	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	1.00	▷	外壁面・柱型：下地調整 一部 LGS、石膏ボード 厚12.5 ビニルクロス	LGS	2.700	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 H30 木製ブラインドボックス SOP (アルミブラインド共) 2ヶ所 床見切：W30 厚1.5 SUS HL	事務室6
					居室	仕上	タイルカーペット 厚6.5									
1	廊下・湯沸室	現況	○	準不燃	—	下地	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去	1.00	▷	モルタル金ゴテ押え LGS 撤去、石膏ボード 厚1.2 撤去 アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	LGS、石膏ボード 厚9 撤去	2.500	塩ビ製 撤去	ミニキッチン W1500 EXP-J	廊下・湯沸室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	EVホール	改修後	○	準不燃	—	下地	下地調整 デッキコンクリート	ソフト巾木	1.00	▷	LGS、石膏ボード 厚12.5 (一部 耐水石膏ボード 厚12.5)	LGS	2.500	塩ビ製	鉄骨柱吹付ロックウール 厚25：FP060CN-9460	EVホール
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.0									
1	階段	現況	○	準不燃	令126条の2 1項三号	下地	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え	1.00	▷	モルタル金ゴテ押え 不燃ビニルクロス 撤去	モルタル金ゴテ押え	2.500	塩ビ製 撤去	手摺子 (既存部)：SUS φ19、手摺：塩ビ製 φ40 段鼻：SUS ノンスリップ、チェーン	階段
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.8 撤去									
1	EV	増築	○	難燃	令126条の2 1項三号	下地	EV仕様による	現況のまま	1.00	▷	不燃ビニルクロス	現況のまま	2.500	塩ビ製 撤去	鉄骨梁吹付ロックウール 厚25：FP060BM-9408 梁 (小屋組部分) 鉄骨梁被覆被和 (FLより4m以上)：告示第1399号	EV
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.0									

○ 特記事項	○ 共通事項	○ 認定番号	○ 耐火構造の仕様
<p>※防火区画は天井裏まで達せしめるものとし、貫通する配管については不燃材料を使用し防火設備を設ける。 LGS、強化石膏ボード 厚2.1+強化石膏ボード 厚2.1 (片面)</p> <p>※防火区画において隙間はロックウール充填を施すこと。</p> <p>※軽鉄天井下地 直結工法 (Mバ-W、S交互@227、キャリングチャンネル@900、吊ボルト@900)</p> <p>※軽鉄天井下地の仕様は国土交通省の共通仕様書による。 又、天井ふところの大きな部分 (H1500以上) は吊ボルト相互に補助材にて繋がる事。</p> <p>※折板などの標準取付金物、付属品はすべて見込んでおくこと。</p> <p>※アスベスト含有成形板 (ロックウール吸音板) の処理は、散水などにより湿潤化し、てばらしとする。 作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 除去物については、粉塵防止に努め、特に破壊されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、</p> <p>「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル 2014.6 (環境省水・大気環境局大気環境課)」を参考とする。</p>	<p>●天井・壁見切縁は塩ビ製 (底目) とする。</p> <p>●天井点検口は図示以外設備用として必要数を見込んでおくこと。(アルミ枠450角)</p> <p>●既存カーテンボックスは撤去の上、アルミカーテンボックス新設とする。</p> <p>●喫煙所間仕切内：グラスウール 10kg/m3 厚50</p> <p>●洗面器等取付下地は耐水合板 厚1.2とする。</p> <p>●断熱材 (天井)：グラスウール 2.4kg/m3 厚100</p> <p>●LGS間仕切：100形@303</p>	<p>・石膏ボード 厚9.5 不燃 NM-0441</p> <p>・石膏ボード 厚12.5 不燃 NM-8619</p> <p>・耐水石膏ボード 厚12.5 準不燃 QM-0898</p> <p>・耐水石膏ボード 厚12.5 不燃 NM-9639</p> <p>・化粧石膏ボード 厚9.5 準不燃 QM-0524</p> <p>・化粧石膏ボード 厚9.5 不燃 NM-1864</p> <p>・ビニルクロス 不燃 NM-3991</p> <p>・ビニルクロス 準不燃 QM-8222</p> <p>・ロックウール吸音板 厚9 不燃 NM-8599</p> <p>・メラミン不燃化粧板 厚3 不燃 NM-2183</p> <p>・移動間仕切 不燃 NM-2300</p>	<p>防火区画 1時間耐火 LGS、強化石膏ボード 厚2.1+強化石膏ボード 厚2.1 (片面) FP060NP-0185</p> <p>令112条1項、13項 2時間耐火 鉄筋コンクリート造 厚100以上：告示第1399号 コンクリート 厚120：告示第1399号</p> <p>防火区画 令112条1項 2時間耐火 外壁 (耐力壁) ・2階床・梁 1時間耐火</p> <p>スパンドレル 1時間耐火 LGS、強化石膏ボード 厚2.1+強化石膏ボード 厚2.1 (片面) FP060NP-0185</p> <p>屋根・外壁 (非耐力壁) 30分耐火 ALC板 厚100：告示第1399号</p> <p>屋根 30分耐火 金属板屋根+オレフィン樹脂系フォーム：FP030RF-0483</p> <p>階段 30分耐火 鉄骨：告示第1399号</p> <p>柱 1時間耐火 鉄骨柱吹付ロックウール 厚25：FP060CN-9460</p> <p>梁 1時間耐火 鉄骨梁吹付ロックウール 厚25：FP060BM-9408</p> <p>梁 (小屋組部分) 1時間耐火 鉄骨梁被覆被和 (FLより4m以上)：告示第1399号</p>

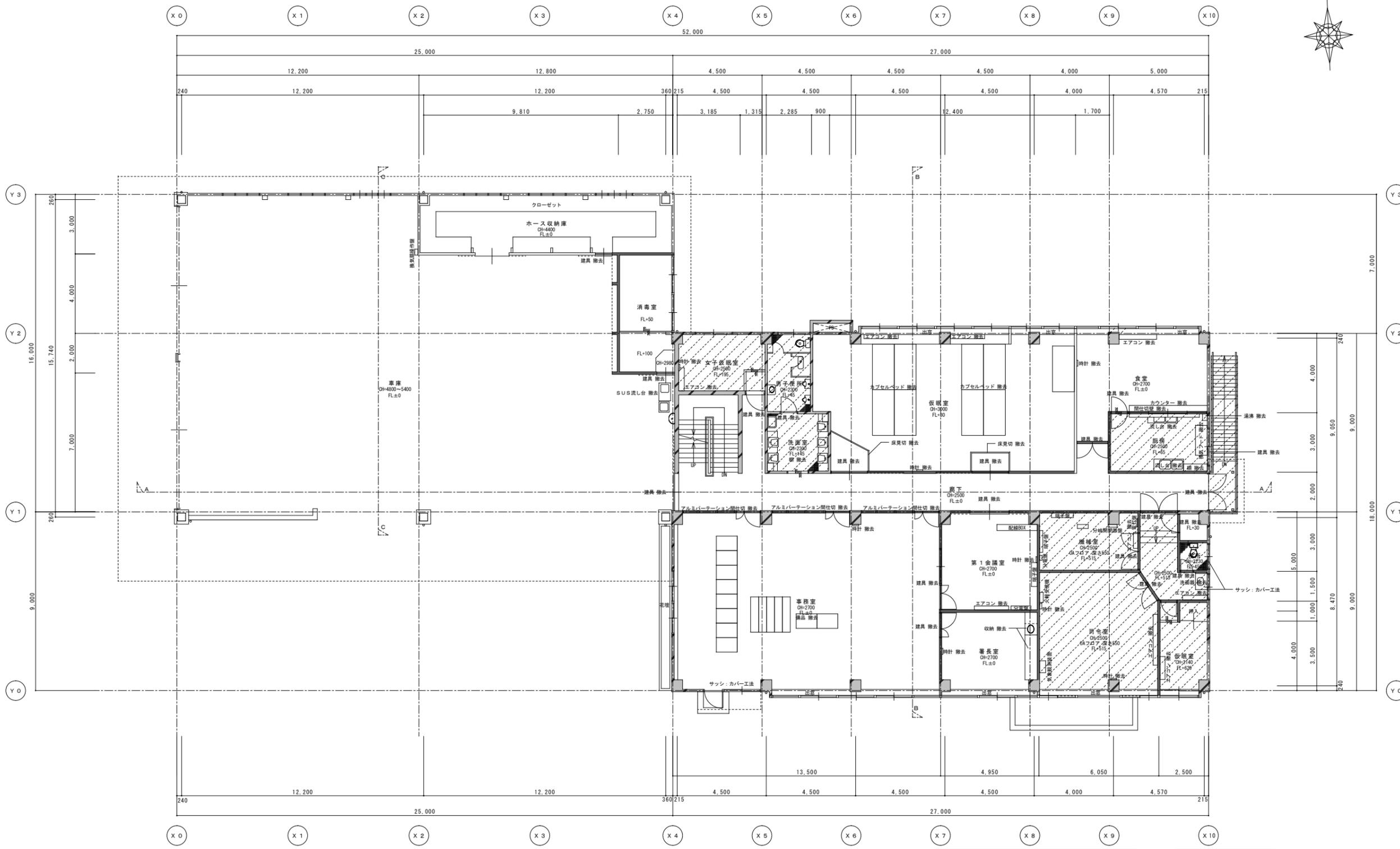


< 現況 > 1階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

	増築	既存	合計
1階床面積	12.22	884.57	896.79
2階床面積	12.22	893.63	905.85
PH床面積	0.00	9.60	9.60
延床面積	24.44	1787.80	1812.24

蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

	鉄筋コンクリート壁を示す。
	床下地改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

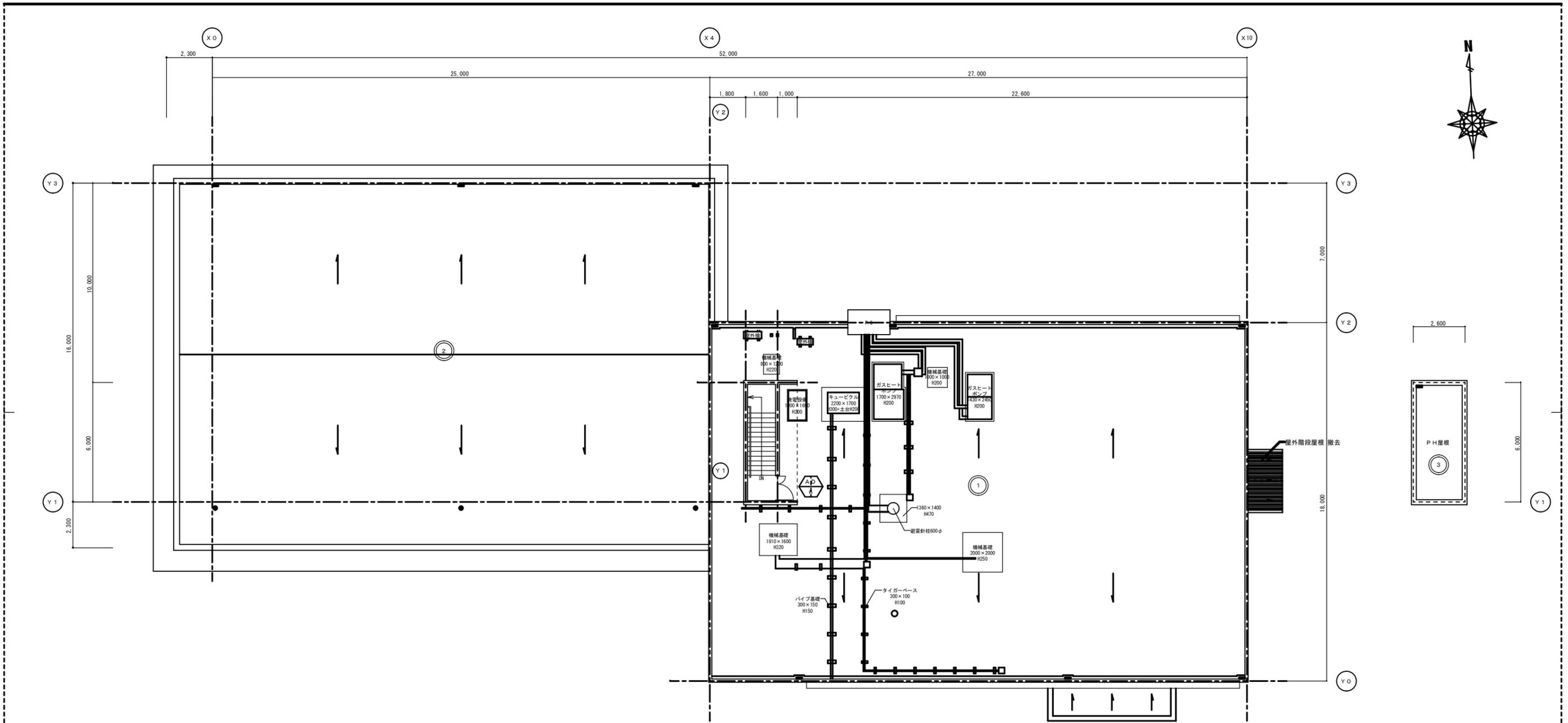


<現況>2階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

面積表 (㎡)			
	増築	既存	合計
1階床面積	12.22	884.57	896.79
2階床面積	12.22	893.63	905.85
PH床面積	0.00	9.60	9.60
延床面積	24.44	1787.80	1812.24

屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

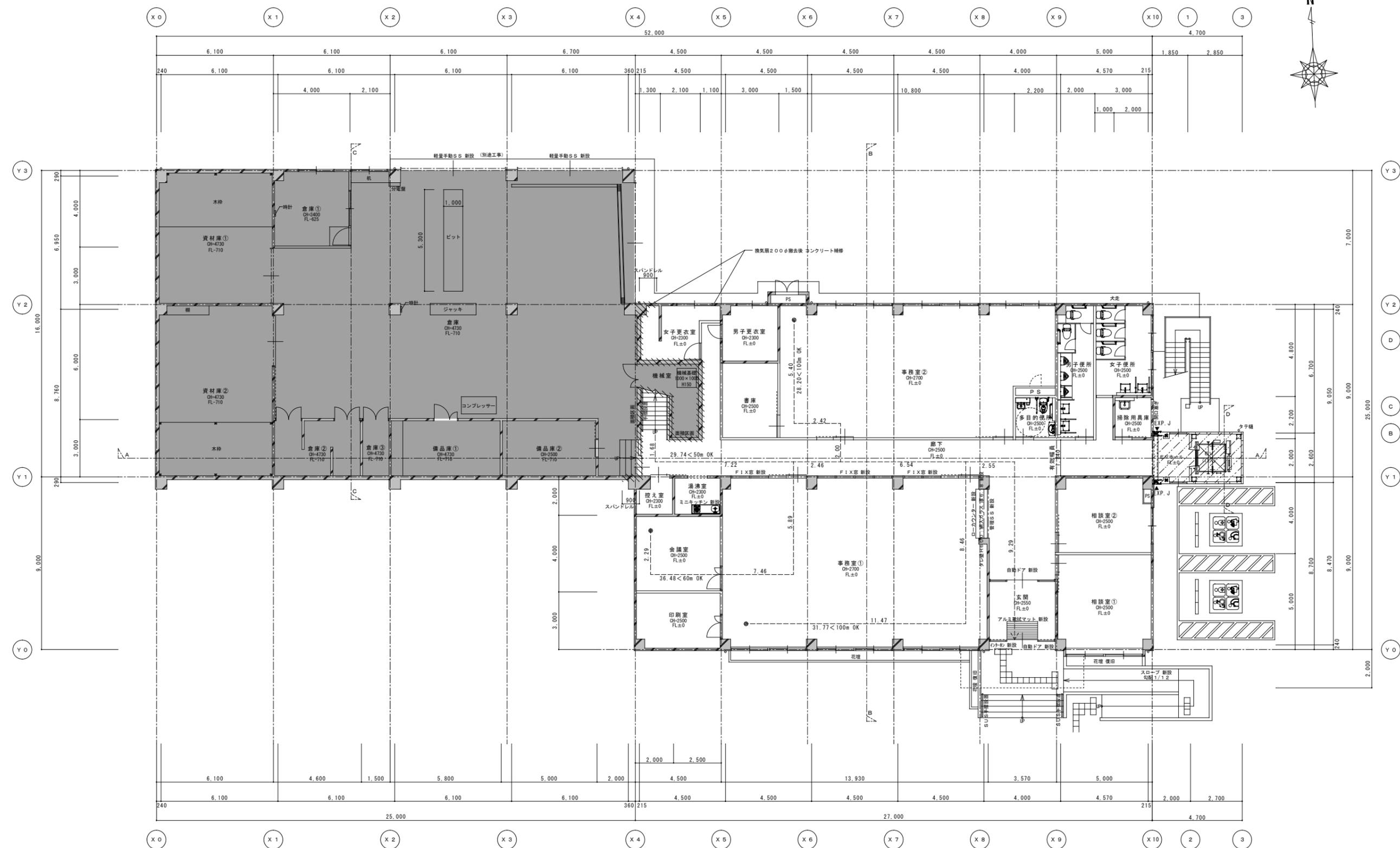
○凡例	
	鉄筋コンクリート壁を示す。
	床下地改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。



<現況>PH階平面図・屋根伏図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

屋上 防水改修工事仕上表				
記号	部位	既存/改修	内容	その他
①	屋根 (一般)	既存	下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水 (8層) 仕上: 押え防水モルタル 厚60~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	
		改修	下地: 高圧洗浄 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法)、シート端部固定金物	脱気筒 (SUS製) 10箇所 改修用ドレン (ヨコ型6箇所)
		立上り 清 潔	下地: 既存仕上脆弱部撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、高圧洗浄の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 瓦木欠損部モルタル補修、クラック補修
②	屋根 (車庫)	既存	下地: ALC板 厚100 仕上: シート防水	
		改修	下地: 高圧洗浄、立上り際浮き部分撤去 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法)、シート端部固定金物、7ヶ所固定注入処理	脱気筒 (SUS製) 10箇所 改修用ドレン (ヨコ型3箇所、タテ型3箇所)
		立上り 清 潔	下地: 既存シート防水撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理、ALC継ぎ目処理	補強張り・アルミ製キャップ共
③	屋根 (玄関庇・階段室塔屋)	既存	下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上: 露出アスファルト防水 (8層)	
		改修	下地: 既存アスファルト防水撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)	脱気筒 (SUS製) 1箇所 改修用ドレン (ヨコ型1箇所)
		立上り 清 潔	下地: 既存アスファルト防水撤去、押え金物撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 瓦木: 高圧洗浄、欠損部モルタル補修の上、X2

<特記事項>
ウレタン吹付け時の飛散防止に配慮すること。
タイガーベース等の撤去可能な配管受け台は撤去とする。



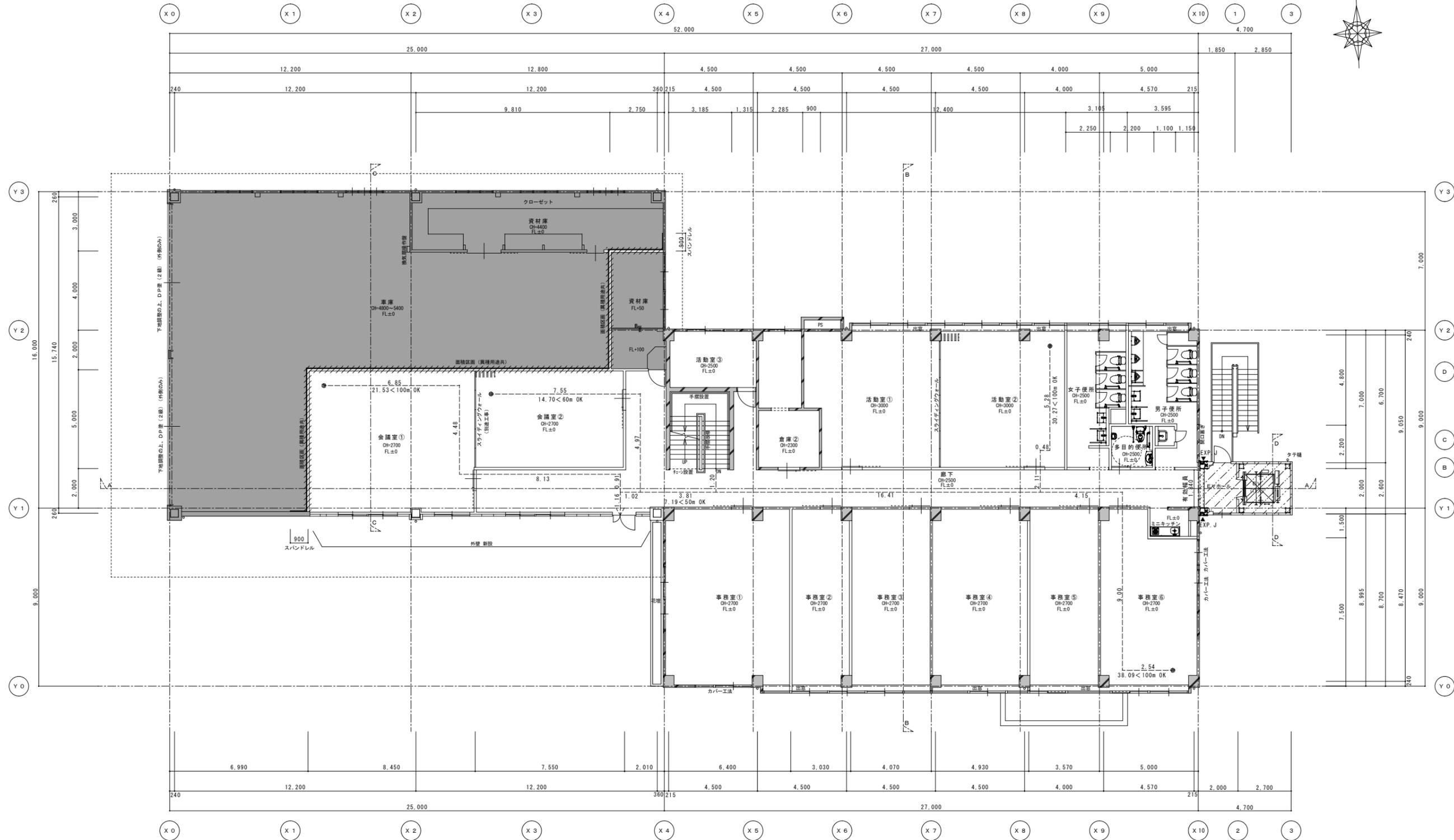
令112条第1項防火区画を示す。
 LGS下地、強化石膏ボード 厚21 片面二重張 (1時間耐火: FPO60NP-0185)
 鉄筋コンクリート造 厚100以上 (2時間耐火: 平告12建告1399号)
 スパンドレル・・・鉄筋コンクリート造 厚100以上 (2時間耐火: 平告12建告1399号)
 ※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
 ※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

<改修>1階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

	増築	既存	合計
1階床面積	12.22	884.57	896.79
2階床面積	12.22	893.63	905.85
PH床面積	0.00	9.60	9.60
延床面積	24.44	1787.80	1812.24

蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm



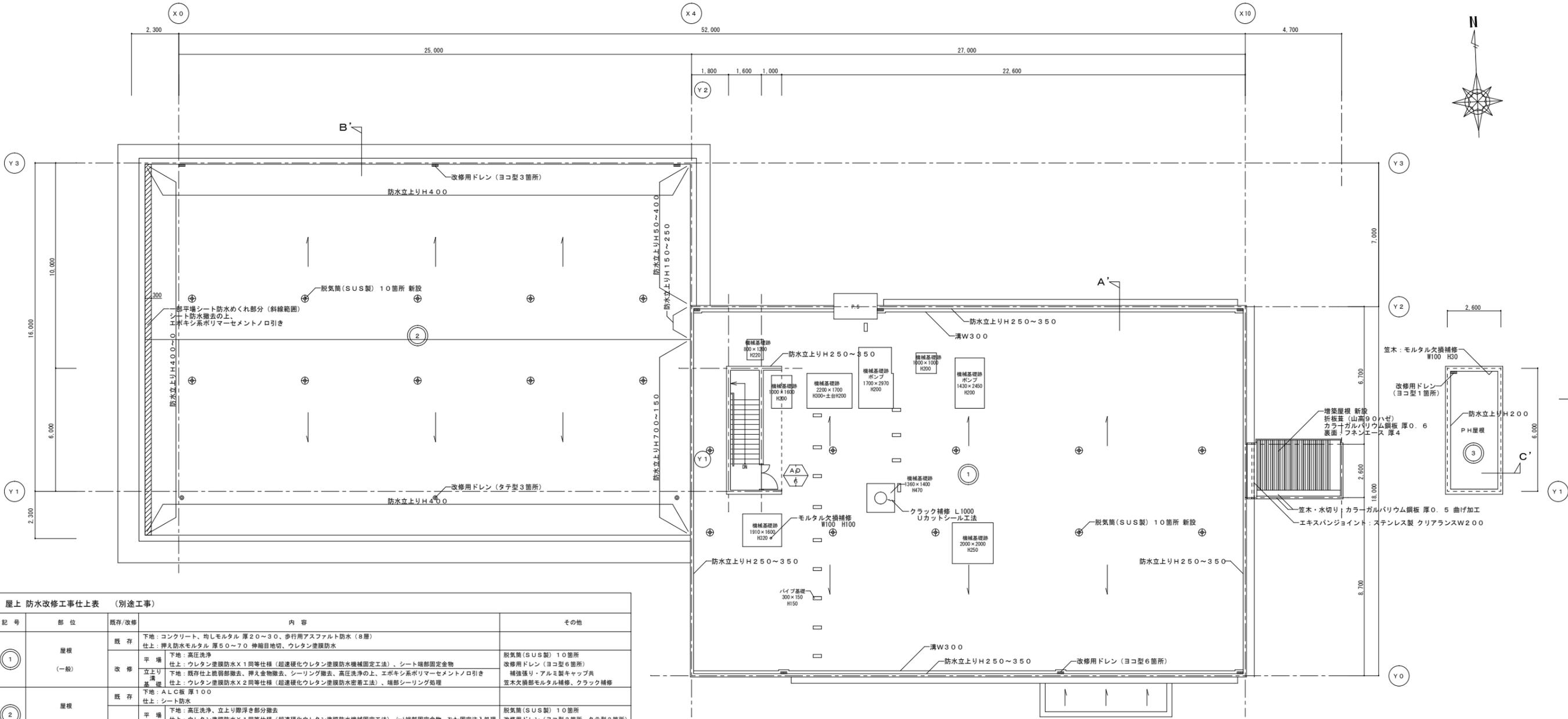
<改修> 2階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

面積表 (㎡)			
	増築	既存	合計
1階床面積	12.22	884.57	896.79
2階床面積	12.22	893.63	905.85
PH床面積	0.00	9.60	9.60
延床面積	24.44	1787.80	1812.24

屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

屋外階段	
蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm

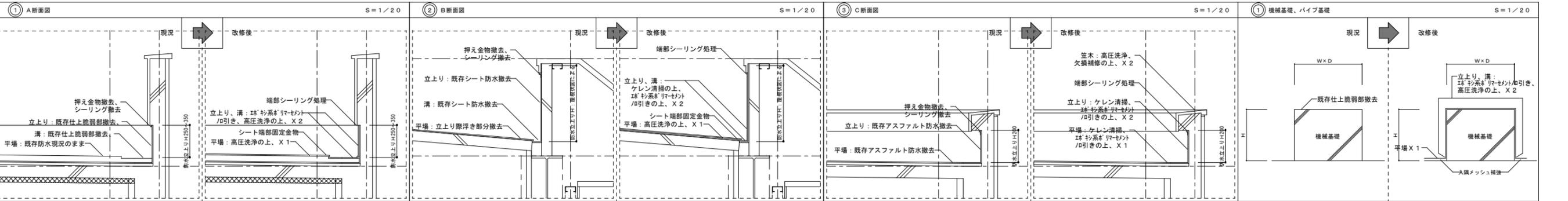
令112条第1項防火区画を示す。
 LGS下地、強化石膏ボード厚21片面二重張(1時間耐火:FP060NP-0185)
 スパンドレル...LGS下地、強化石膏ボード厚21片面二重張(1時間耐火:FP060NP-0185)
 ※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
 ※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

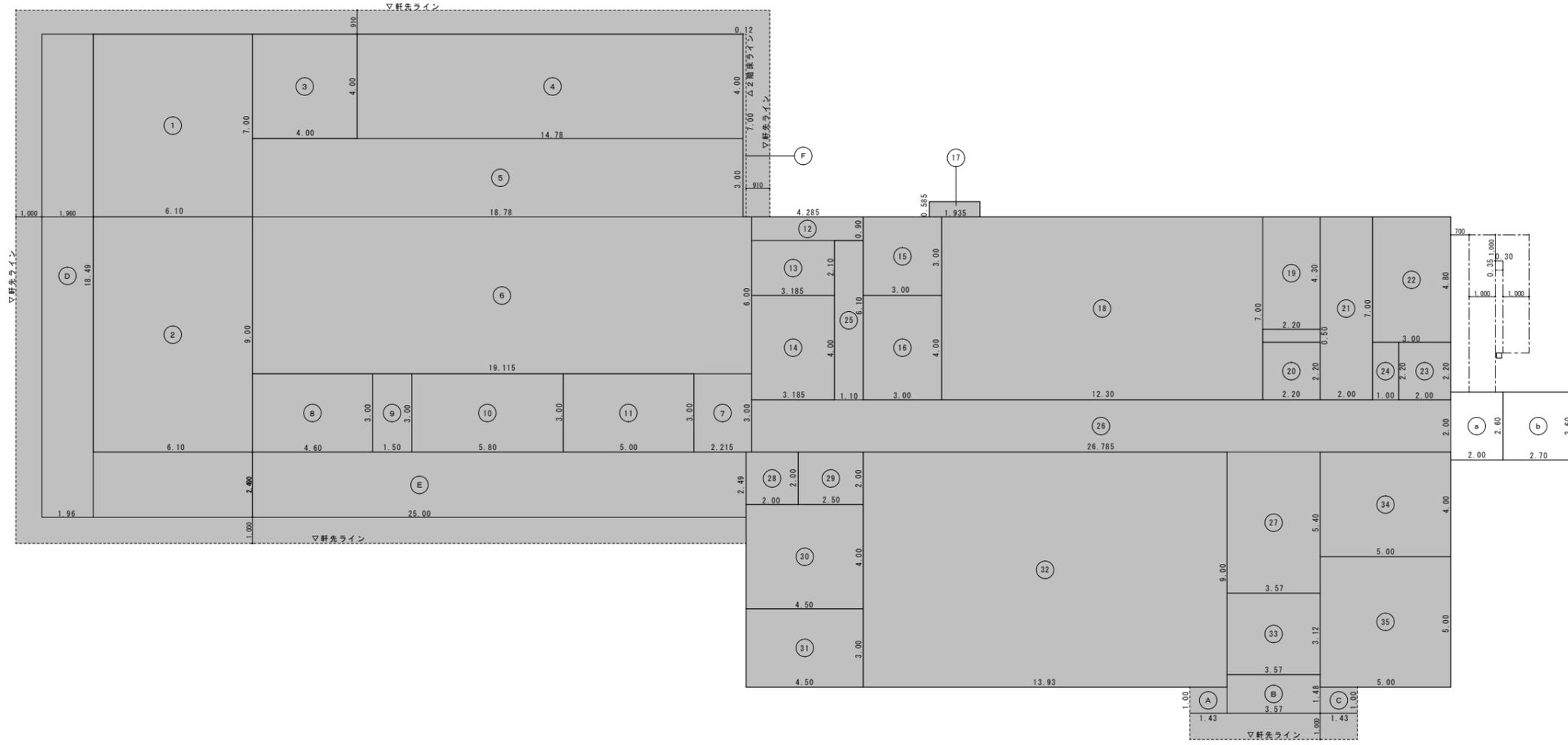


屋上 防水改修工事仕上表 (別途工事)

記号	部位	既存/改修	内容	その他
①	屋根 (一般)	既存	下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水 (8層) 仕上: 押え防水モルタル 厚50~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	
		改修	平場: 下地: 高圧洗浄 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法)、シート端部固定金物	脱気筒(SUS製) 10箇所 改修用ドレン (ヨコ型6箇所)
		立上り 清 基 礎	下地: 既存仕上脆弱部撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、高圧洗浄の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 笠木欠損部モルタル補修、クラック補修
②	屋根 (雑席)	既存	下地: ALC板 厚100 仕上: シート防水	
		改修	平場: 下地: 高圧洗浄、立上り際浮き部分撤去 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法)、シート端部固定金物、アパ固定注入処理	脱気筒(SUS製) 10箇所 改修用ドレン (ヨコ型3箇所、タテ型3箇所)
		立上り 清 基 礎	下地: 既存シート防水撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理、ALC継ぎ目メッシュ補修	補強張り・アルミ製キャップ共
③	屋根 (玄関庇・階段室屋根)	既存	下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上: 露出アスファルト防水 (8層)	
		改修	平場: 下地: 既存アスファルト防水撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X1同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)	脱気筒(SUS製) 1箇所 改修用ドレン (ヨコ型1箇所)
		立上り	下地: 既存アスファルト防水撤去、押え金物撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水X2同等仕様 (超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法)、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 笠木: 高圧洗浄、欠損部モルタル補修の上、X2

<特記事項>
 ウレタン改付時の飛散防止に配慮すること。
 タイガーペース等の撤去可能な取付台は撤去とする。



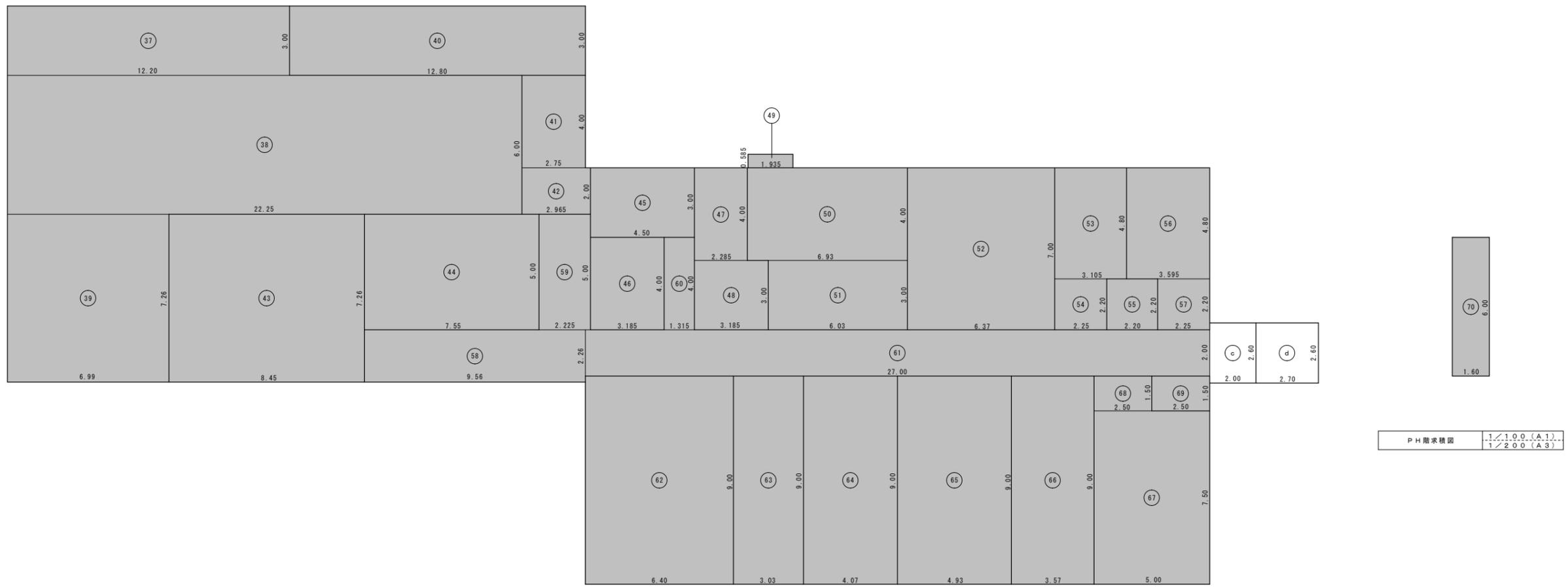


--- 現況範囲を示す。

1階床積算	1/100 (A1)
	1/200 (A3)

面積表

床面積算定表												建築面積							
資材庫①	①	7.00×6.10	42.70	備品庫②	⑩	3.00×5.80	17.40	多目的便所	⑳	2.20×2.20	4.84	会議室	⑳	4.00×4.50	18.00	庇	Ⓐ	1.00×1.43	1.43
資材庫②	②	9.00×6.10	54.90	女子更衣室	⑪	3.00×5.00	15.00	男子便所	㉑	7.00×2.00	14.00	印刷室	㉑	3.00×4.50	13.50		Ⓑ	1.48×3.57	5.2836
倉庫①	③	4.00×4.00	16.00		計	⑬	2.10×3.185	6.6885	女子便所	㉒	4.80×3.00	14.40	事務室①	㉒	9.00×13.93		125.37	Ⓒ	1.00×1.43
倉庫	④	4.00×14.78	59.12	機械室	⑭	4.00×3.185	12.74	掃除用具庫	㉓	2.20×2.00	4.40	玄関	㉓	3.12×3.57	11.1384	屋根	Ⓓ	18.49×1.96	36.2404
	⑤	3.00×18.78	56.34		男子更衣室	⑮	3.00×3.00		9.00	廊下	㉔	2.20×1.00	2.20	相談室②	㉔		4.00×5.00	20.00	Ⓔ
	⑥	6.00×19.115	114.69	書庫		⑯	4.00×3.00	12.00	PS		㉕	6.10×1.10	6.71	相談室①	㉕	5.00×5.00	25.00	2階床	Ⓕ
	⑦	3.00×2.215	6.645		PS	⑰	0.585×1.935	1.131975		計	㉖	2.00×26.785	53.57	EVホール	Ⓖ	2.60×2.00	5.20	屋外階段	Ⓖ
倉庫②	⑧	3.00×4.60	13.80	事務室②		⑱	7.00×12.30	86.10	控入室		㉗	5.40×3.57	19.278	合計	既存部1階床面積		884.578	合計	1階床面積+A+B+C+D+E+F
倉庫③	⑨	3.00×1.50	4.50		計	⑲	4.30×2.20	9.46		湯沸室	㉘	2.00×2.00	4.00	EV	Ⓗ	2.60×2.70	7.02	1階床面積	既存部1階床面積+増築部1階床面積
備品庫①	⑩	3.00×5.80	17.40	計		⑳	3.00×5.80	17.40	計		㉙	2.00×2.50	5.00	合計	増築部1階床面積		12.22	延床面積	1812.24 m2



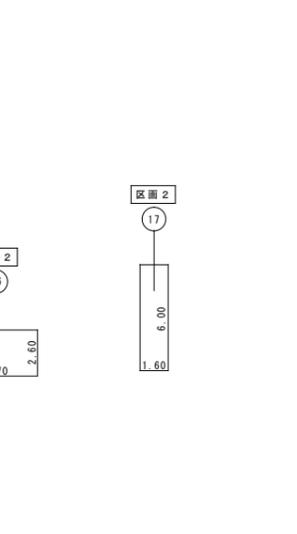
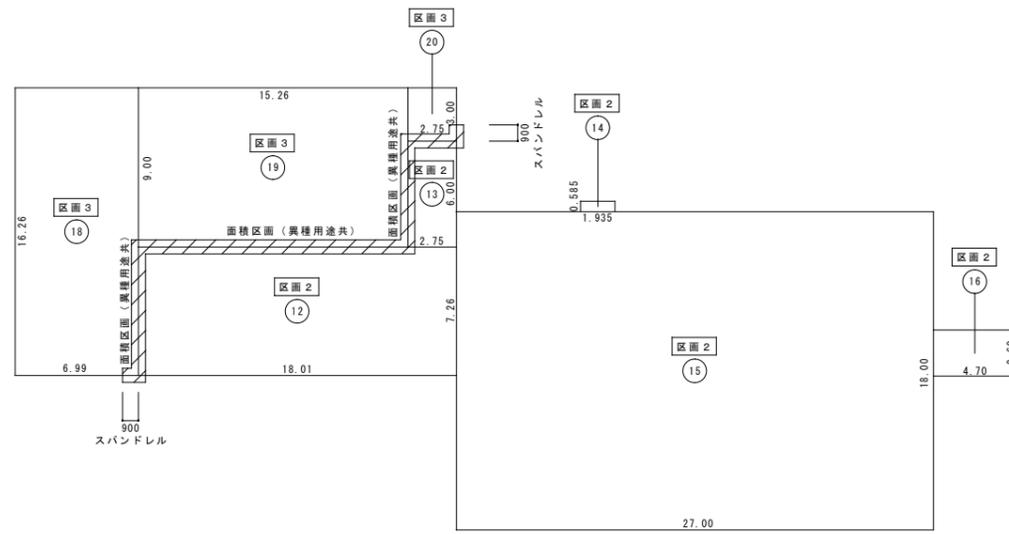
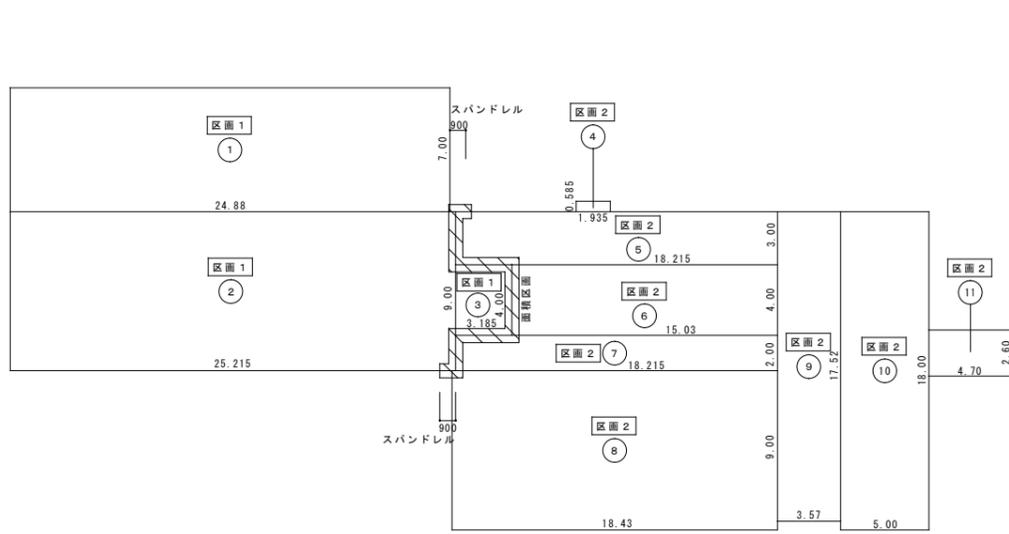
..... 現況範囲を示す。

2階床積図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

面積表

床面積算定表

用途	室番号	寸法	面積	用途	室番号	寸法	面積	用途	室番号	寸法	面積	用途	室番号	寸法	面積	用途	室番号	寸法	面積	
車庫	37	3.00×12.20	36.60	倉庫	47	4.00×2.285	9.14	多目的便所	55	2.20×2.20	4.84	事務室③	64	9.00×4.07	36.63	階段室	70	6.00×1.60	9.60	
	38	6.00×22.25	133.50		48	3.00×3.185	9.555	男子便所	56	4.80×3.595	17.256	事務室④	65	9.00×4.93	44.37		既存部PH階床面積		9.60	
	39	7.26×6.99	50.7474		計		18.695		57	2.20×2.25	4.95	事務室⑤	66	9.00×3.57	32.13	既存部2階床面積				
	計		220.8474	P.S	49	0.585×1.935	1.131975	計		22.206	事務室⑥	67	7.50×5.00	37.50						
資材庫	40	3.00×12.80	38.40	活動室①	50	4.00×6.93	27.72	廊下	58	2.26×9.56		21.6056	計	68	1.50×2.50				3.75	
資材庫	41	4.00×2.75	11.00		51	3.00×6.03	18.09		59	5.00×2.225	11.125	計			41.25					
	42	2.00×2.965	5.93	計		45.81	60	4.00×1.315	5.26	湯沸室	69	1.50×2.50	3.75							
会議室①	43	7.26×8.45	61.347	活動室②	52	7.00×6.37	44.59	計	61	2.00×27.00	54.00	合計	既存部2階床面積		893.63					
	44	5.00×7.55	37.75	女子便所	53	4.80×3.105	14.904		計		91.9906	E.Vホール	c	2.60×2.00	5.20					
45	3.00×4.50	13.50	54		2.20×2.25	4.95	事務室①	62	9.00×6.40	57.60	E.V		d	2.60×2.70	7.02				2階床面積	既存部2階床面積+増築部2階床面積
階段	46	4.00×3.185	12.74	計		19.854	事務室②	63	9.00×3.03	27.27	合計	増築部2階床面積		12.22	延床面積				1812.24 m2	



面積区画（令112条第1項）の検討

面積区画検討面積：1812.24m²

区画1		区画2		区画3	
①	7.00×24.88 174.16	④	0.585×1.935 1.131975	⑱	16.26×6.99 113.6574
②	9.00×25.215 226.935	⑤	3.00×18.215 54.645	⑲	9.00×15.26 137.34
③	4.00×3.185 12.74	⑥	4.00×15.03 60.12	⑳	3.00×2.75 8.25
		⑦	2.00×18.215 36.43		
		⑧	9.00×18.43 165.87		
		⑨	17.52×3.57 62.5464		
		⑩	18.00×5.00 90.00		
		⑪	2.60×4.70 12.22		
		⑫	7.26×18.01 130.7526		
		⑬	6.00×2.75 16.50		
		⑭	0.585×1.935 1.131975		
		⑮	18.00×27.00 486.00		
		⑯	2.60×4.70 12.22		
		⑰	6.00×1.60 9.60		
判定	1500m ² > 413.83m ² OK	判定	1500m ² > 1139.17m ² OK	判定	1500m ² > 259.24m ² OK

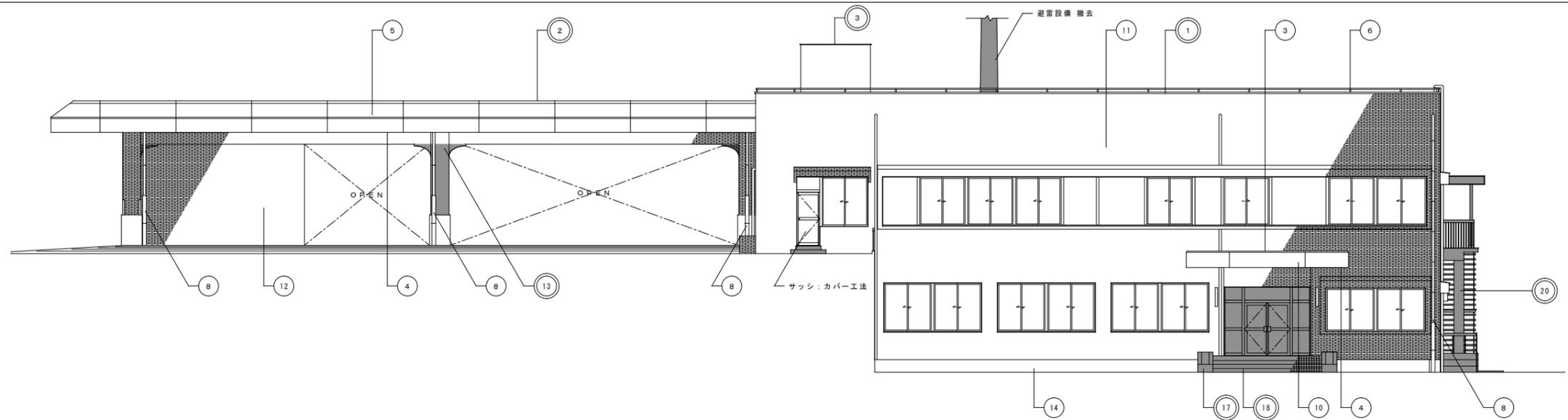
※設備管・設備風道等が区画を貫通する場合は、令112条15号・16号に通じた処理・構造とする。

※延焼部分の換気扇等の開口部はFD付等の防火処理を行う事。

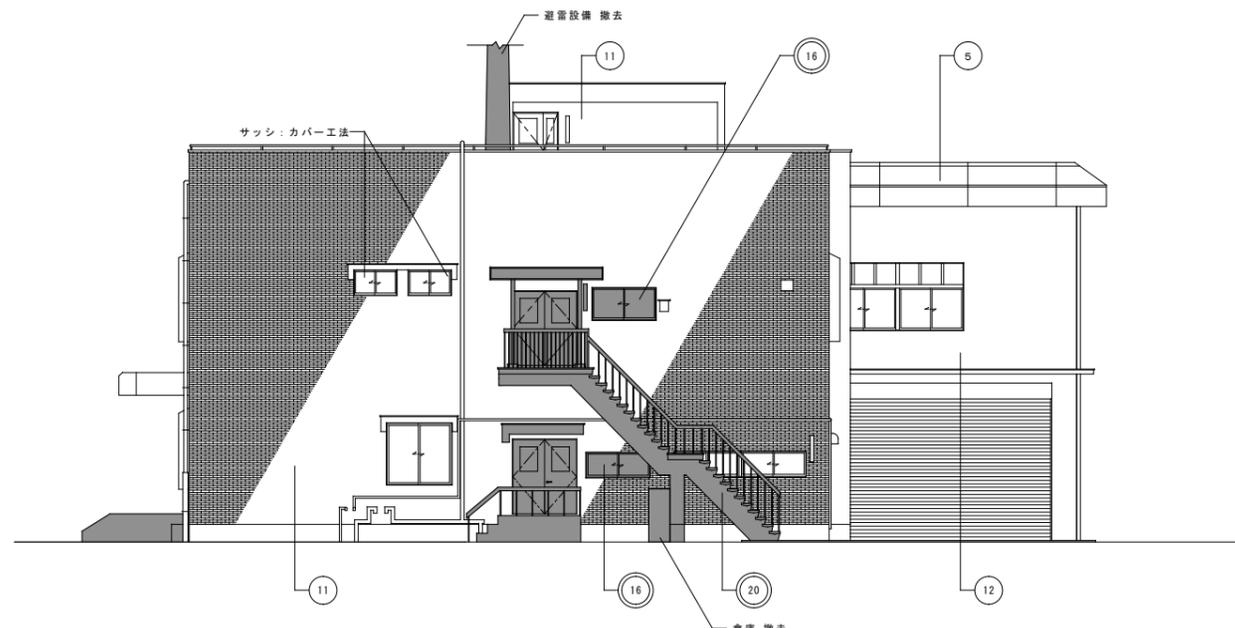
令112条第1項防火区画を示す。
 LGS下地、強化石膏ボード 厚21 片面二重張（1時間耐火：FP060NP-0185）
 スパンドレル・・・LGS下地、強化石膏ボード 厚21 片面二重張（1時間耐火：FP060NP-0185）
 ※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
 ※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

令112条第1項防火区画を示す。
 LGS下地、強化石膏ボード 厚21 片面二重張（1時間耐火：FP060NP-0185）
 鉄筋コンクリート造 厚100以上（2時間耐火：平告12建告1399号）
 スパンドレル・・・鉄筋コンクリート造 厚100以上（2時間耐火：平告12建告1399号）
 ※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
 ※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

S L V チェック表							消防有窓判定 (S / 30)
1階床面積: 896.79m ² 2階床面積: 905.85m ²							1階床面積: 896.79m ²
階	室名	居室種別	床面積(m ²)	排煙チェック (S / 50)	採光チェック (S / 20)	換気チェック (S / 20)	
1	資材庫①	非居室	42.70				AW3: W1.875×H1.90×2連×5ヶ所=35.62
	資材庫②	非居室	54.90				AD01: W1.60×H2.00=3.20
	倉庫①	非居室	16.00				
	倉庫②	非居室	236.80				判定: 38.82>29.90 有窓階
	倉庫③	非居室	13.80				
	倉庫④	非居室	4.50				
	備品庫①	非居室	17.40				
	備品庫②	非居室	15.00				2階床面積: 905.85m ²
	女子更衣室	非居室	10.55				AW1: W1.80×H1.90×6ヶ所=20.52
	機械室	非居室	12.74				
	男子更衣室	非居室	9.00				AW2: W1.77×H1.90×4ヶ所=13.45
	書庫	非居室	12.00				
	事務室②	居室	95.56	AW3: W1.875×H0.80×0.5×2連×2ヶ所=3.00 AW5: W1.625×H0.80×0.5×2連=1.30 判定: 4.30>1.92 OK	AW3: W1.875×H1.90×2連×2ヶ所=14.25 判定: 14.25>4.78 OK	AW3: W1.875×H1.90×0.5×2連×2ヶ所=7.12 判定: 7.12>4.78 OK	判定: 33.97>30.20 有窓階
	多目的便所	非居室	4.84				
	男子便所	非居室	14.00				避難歩行距離関係
	女子便所	非居室	14.40				令125条 避難階居室: 歩行距離100m (主要構造部耐火構造)
	掃除用具庫	非居室	4.40				
	廊下	非居室	81.75				避難階採光無窓居室: 歩行距離60m
控え室	非居室	4.00					
湯沸室	非居室	5.00				階段から屋外への出口の一に至る歩行距離: 50m	
会議室	居室	18.00	平12建告1436号四二 (4)	非常用照明設置	機械換気設備設置		
印刷室	非居室	13.50					
事務室①	居室	125.37	AW3: W1.875×H0.80×0.5×2連×3ヶ所=4.50 判定: 4.50>2.51 OK	AW3: W1.875×H1.90×2連×3ヶ所=21.37 判定: 21.37>6.27 OK	AW3: W1.875×H1.90×0.5×2連×3ヶ所=10.68 判定: 10.68>6.27 OK		
玄関	非居室	11.13					
相談室②	居室	20.00	AW11: W1.80×H0.80×0.5=0.72 判定: 0.72>0.40 OK	AW11: W1.80×H1.70=3.06 判定: 3.06>1.00 OK	AW11: W1.80×H1.70×0.5=1.53 判定: 1.53>1.00 OK		
相談室①	居室	25.00	AW7: W1.91×H0.80×0.5×2連=1.52 判定: 1.52>0.50 OK	AW7: W1.91×H1.70×2連=6.49 判定: 6.49>1.25 OK	AW7: W1.91×H1.70×0.5×2連=3.24 判定: 3.24>1.25 OK		
P S	非居室	1.13					
E V ホール	非居室	5.20					
E V	非居室	7.02					
2	車庫	非居室	220.85				
	資材庫	非居室	38.40				
	倉庫	非居室	16.93				
	会議室①	居室	61.35	AW022: W1.70×H0.76×0.5=0.64 AW023: W1.41×H0.76×0.5×2連=1.07 判定: 1.71>1.23 OK	AW022: W1.70×H1.86=3.16 判定: 3.16>3.07 OK	AW022: W1.70×H1.86×0.5=1.58 AW023: W1.41×H1.86×0.5×2連=2.62 判定: 4.20>3.07 OK	
	会議室②	居室	37.75	平12建告1436号四二 (4)	非常用照明設置	機械換気設備設置	
	活動室③	居室	13.50	判定: 0<0.27 NG 平12建告1436号四二 (4)	AW13: W1.80×H1.20=2.16 判定: 2.16>0.68 OK	AW13: W1.80×H1.20×0.5=1.08 判定: 1.08>0.68 OK	
	階段	非居室	12.74				
	倉庫	非居室	18.70				
	P S	非居室	1.13				
	活動室①	居室	45.81	AW2: W1.77×H0.50×0.5×2ヶ所=0.88 判定: 0.88<0.92 NG 平12建告1436号四二 (4)	AW2: W1.77×H1.90×2ヶ所=6.72 判定: 6.72>2.30 OK	AW2: W1.77×H1.90×0.5×2ヶ所=3.36 判定: 3.36>2.30 OK	
	活動室②	居室	44.59	AW2: W1.77×H0.50×0.5×2ヶ所=0.88 AW2: W1.55×H0.50×0.5×2ヶ所=0.77 判定: 1.65>0.90 OK	AW2: W1.77×H1.90×2ヶ所=6.72 判定: 6.72>2.23 OK	AW2: W1.77×H1.90×0.5×2ヶ所=3.36 判定: 3.36>2.23 OK	
	女子便所	非居室	19.85				
	多目的便所	非居室	4.84				
	男子便所	非居室	22.20				
	湯沸室	非居室	3.75				
	廊下	非居室	91.99				
	事務室①	居室	57.60	AW4: W1.80×H0.80×0.5×2連=1.44 判定: 1.44>1.16 OK	AW4: W1.80×H1.90×2連=6.84 判定: 6.84>2.88 OK	AW4: W1.80×H1.90×0.5×2連=3.42 判定: 3.42>2.88 OK	
	事務室②	居室	27.27	AW1: W1.80×H0.80×0.5=0.72 判定: 0.72>0.55 OK	AW1: W1.80×H1.90=3.42 判定: 3.42>1.37 OK	AW1: W1.80×H1.90×0.5=1.71 判定: 1.71>1.37 OK	
	事務室③	居室	36.63	AW1: W1.80×H0.80×0.5=0.72 AW1: W0.90×H0.80=0.72 判定: 1.44>0.74 OK	AW1: W1.80×H1.90=3.42 判定: 3.42>1.84 OK	AW1: W1.80×H1.90×0.5=1.71 AW1: W0.90×H1.90=1.71 判定: 3.42>1.84 OK	
	事務室④	居室	44.37	AW1: W1.80×H0.80×0.5=0.72 判定: 0.72<0.89 NG 平12建告1436号四二 (4)	AW1: W1.80×H1.90=3.42 判定: 3.42>2.22 OK	AW1: W1.80×H1.90×0.5=1.71 判定: 1.71<2.22 NG 機械換気設備設置	
	事務室⑤	居室	32.13	AW1: W0.90×H0.80=0.72 判定: 0.72>0.65 OK	AW1: W1.80×H1.90=3.42 判定: 3.42>1.61 OK	AW1: W0.90×H1.90=1.71 判定: 1.71>1.61 OK	
事務室⑥	居室	41.25	AW1: W1.91×H0.80×0.5=0.76 AW1: W0.90×H0.80=0.72 判定: 1.48>0.83 OK	AW1: W1.91×H1.90=3.62 判定: 3.62>2.07 OK	AW1: W1.91×H1.90×0.5=1.81 AW017: W1.12×H0.59×0.5×2ヶ所=0.66 判定: 2.47>2.07 OK		
E V ホール	非居室	5.20					
E V	非居室	7.02					



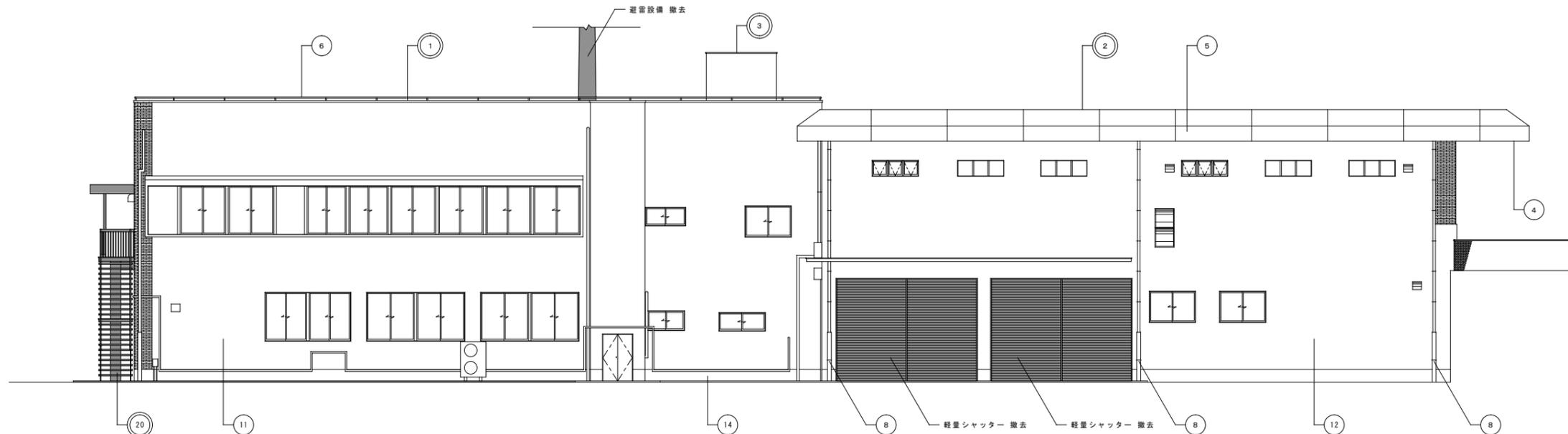
南立面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



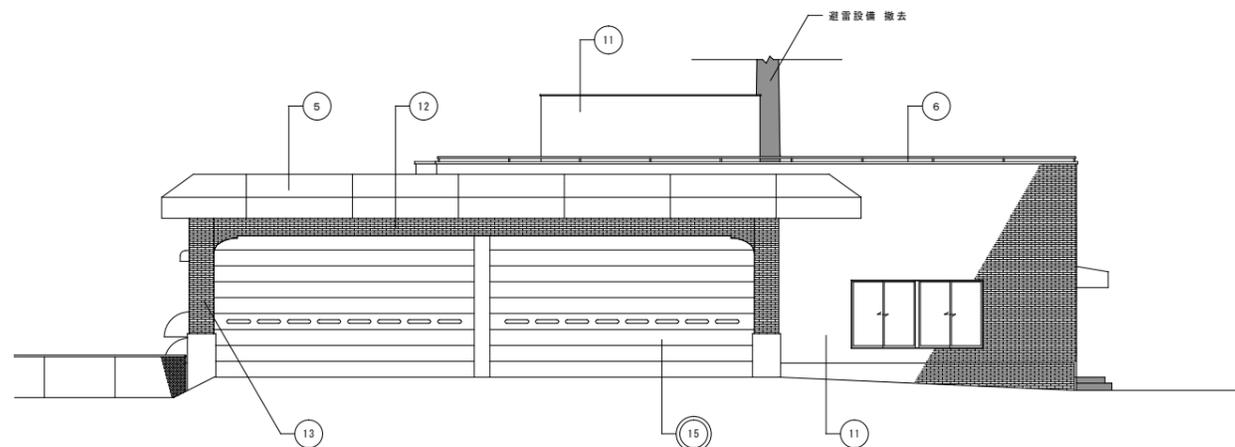
東立面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

既存改修部分 (伊賀市総合福祉会館) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)

部位	No.	名称	現状	改修	材料・仕様	No.	名称	現状	改修	材料・仕様	No.	名称	現状	改修	材料・仕様
屋根	1	屋根 (一般)	既存 下地:コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水 (8層) 仕上:押え防水モルタル 厚50~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	改修 防水改修	屋根	8	堅種	既存 硬質塩ビ製φ100、掘み金物:FB-20×3 OP塗、養生管:鉄製 H2000	改修 既存のまま	外壁	15	オーバースライダー	既存 アルミカラー	改修 下地調整の上、DP塗 (2級) (外側のみ)	床
	2	屋根 (車庫)	既存 下地:ALC板 厚100 仕上:シート防水 撤去	改修 防水改修		9	ルーフトレン	既存 横引きドレンφ100、縦型ルーフトレンφ100 撤去	改修 改修用ドレン		16	開口塞ぎ	既存 アルミサッシ撤去	改修 コンクリート 厚120 モルタル塗、二丁掛タイル貼 (既存合わせ)	
	3	屋根 (玄関庇・階段室塔屋)	既存 下地:コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上:露出アスファルト防水 (8層)	改修 防水改修 (玄関庇は現状のまま)		10	玄関庇見付	既存 下地:コンクリート 仕上:アルミジュラクロン加工	改修 既存のまま		17	犬走り	既存 コンクリート 厚150 金ゴテ押え、鉄筋D10@200 (シングル) 既設土間取り合い差し筋アンカー D10L450@200、砕石 厚100 一部花壇撤去共	改修 コンクリート 厚150 金ゴテ押え、鉄筋D10@200 (シングル) ノンスリップ磁器質タイル 撤去	
	4	軒天	既存 アルミカラーズバンドレル	改修 既存のまま		11	外壁 (一般)	既存 東・南・西面:モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面:階段室塔屋:モルタル塗、EP吹付 (ゆずりはだ機種)	改修 既存のまま		18	玄関ポーチ	既存 コンクリート 厚120 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去	改修 コンクリート 厚120 タテコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル300角 厚9、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック300角 縁状・点状	
	5	パラペット (車庫)	既存 下地:C-100×50×20×2.3@3000以内 仕上:アルミジュラクロン加工	改修 既存のまま		12	外壁 (車庫)	既存 南・西面:リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面:リプラスモルタル塗、EP吹付 (ゆずりはだ機種)	改修 既存のまま		19	スロープ (勾配1/12)	既存 -	改修 コンクリート 厚120、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック300角 縁状・点状	
	6	笠木 (一般)	既存 防水モルタルコテ押え 手すり:スチールφ42.7 OP塗	改修 既存のまま		13	柱型 (車庫)	既存 リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去	改修 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付		20	屋外階段 撤去 (RC柱・梁・基礎共)	既存 手すり:φ-100×50×3.2 OP塗 撤去 手すり子:φ-32×32×1.6 OP塗 撤去 踏板:PC版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻:ノンスリップ真鍮製 (ゴム入) 撤去	改修 -	
	7	笠木 (車庫・玄関庇)	既存 アルミジュラクロン加工	改修 既存のまま		14	市木	既存 モルタル刷毛引き H500	改修 既存のまま						



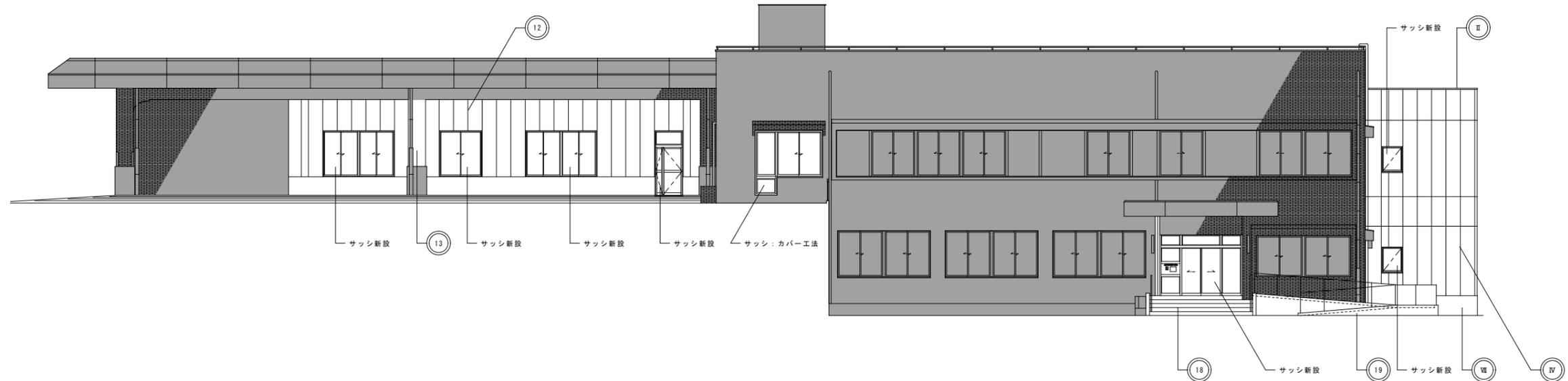
北立面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



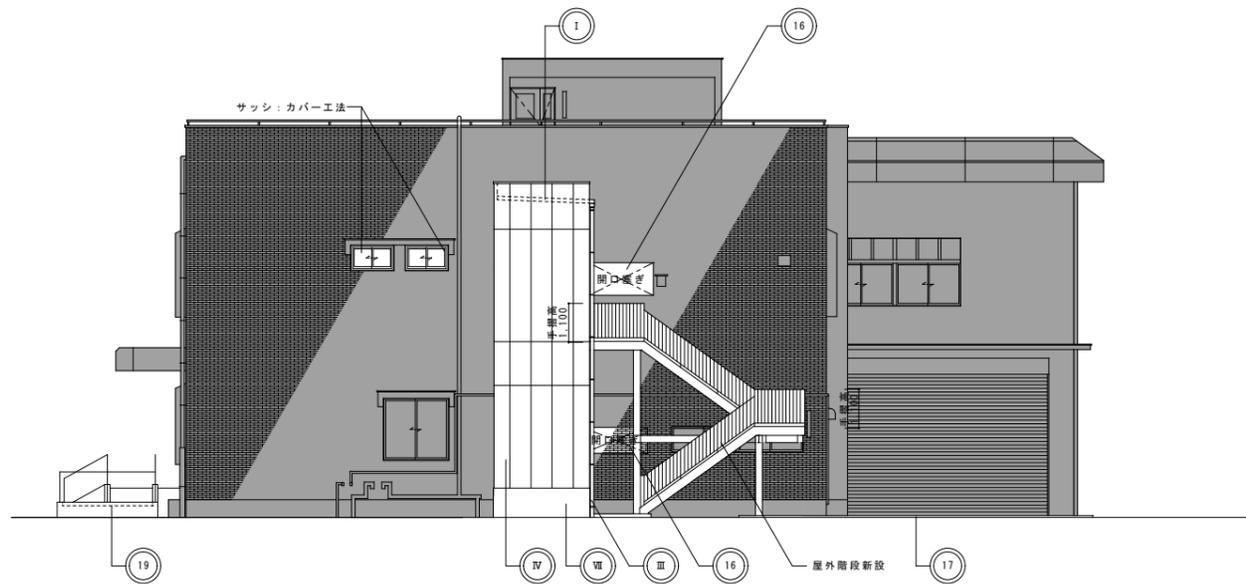
西立面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

既存改修部分（伊賀市総合福祉会館） 外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

No.	部位	種別	現況	改修	材料・仕様	No.	部位	種別	現況	改修	材料・仕様	No.	部位	種別	現況	改修	材料・仕様
屋根	1	屋根 (一般)	既 存	改 修	下地：コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水（8層） 仕上：押え防水モルタル 厚50~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	屋根	8	壁種	既 存	改 修	硬質塩ビ製φ100、掘み金物：FB-20×3 OP塗、養生管：錆鉄製 H2000	外壁	15	オーバースライダー	既 存	改 修	アルミカラー 下地調整の上、DP塗（2級）（外側のみ）
	2	屋根 (車庫)	既 存	改 修	下地：ALC板 厚100 仕上：シート防水 撤去		9	ルーフトレン	既 存	改 修	横引きドレンφ100、縦型ルーフトレンφ100 撤去 改修用ドレン		16	開口塞ぎ	既 存	改 修	アルミサッシ撤去 コンクリート 厚120 モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）
	3	屋根 (玄関庇・階段室塔屋)	既 存	改 修	下地：コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上：露出アスファルト防水（8層）		10	玄関庇見付	既 存	改 修	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工		17	犬走り	既 存	改 修	コンクリート 厚150 金ゴテ押え、鉄筋D10@200（シングル） 周囲カッター切りの上、撤去 一部花壇撤去共
	4	軒天	既 存	改 修	アルミカラーズバンドレル		11	外壁 (一般)	既 存	改 修	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、EP吹付（ゆずはだ模様）		18	玄関ポーチ	既 存	改 修	コンクリート 厚120 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去
	5	パラベット (車庫)	既 存	改 修	下地：C-100×50×20×2.3@3000以内 仕上：アルミジュラクロン加工		12	外壁 (車庫)	既 存	改 修	南・西面：リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リプラスモルタル塗、EP吹付（ゆずはだ模様）		19	スロープ (勾配1/12)	既 存	改 修	コンクリート 厚120、モルタル刷毛引き 一部視覚障がい者用誘導ブロック300角 線状・点状
	6	立木 (一般)	既 存	改 修	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ42.7 OP塗		13	柱型 (車庫)	既 存	改 修	リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去		20	屋外階段 撤去 (RC柱・梁・基礎共)	既 存	改 修	手すり：□-100×50×3.2 OP塗 撤去 手すり子：□-32×32×1.6 OP塗 撤去 踏板：PC版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
	7	立木 (車庫・玄関庇)	既 存	改 修	アルミジュラクロン加工		14	市木	既 存	改 修	モルタル刷毛引き H500						



南立面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)



東立面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

新設部分 (E.V) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)

屋根	I	屋根	折板葺 (山高90ハゼ) カラーガルバリウム鋼板 厚0.6 表面：フネンエース 厚4
	II	笠木	カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 曲げ加工
	III	樋	整樋：硬質塩ビ製φ100 (カラー)、掴み金物：FB-20×3@1200 OP塗 軒樋：硬質塩ビ製角樋W120 (カラー)
外壁	IV	外壁	ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付
	V	バラベツ表面	カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 曲げ加工 下地：ロックウール吹付 厚25
	VI	EXP・J (外壁-外壁)	エキスパンジョイント：ステンレス製 クリアランスW200 耐火帯：ステンレス製 EAJ-防災-3014
	VII	巾木	コンクリート打放し補修 H830
	床	床	コンクリート打放し補修 H830

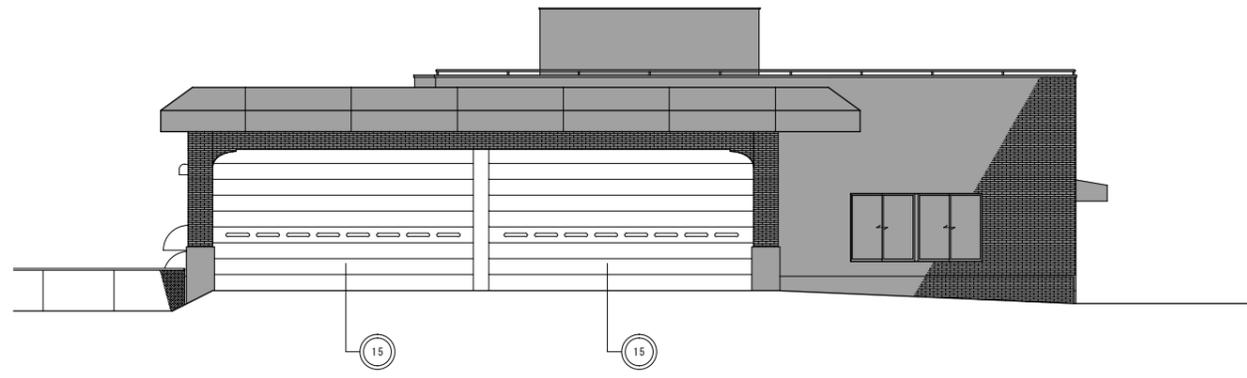
既存改修部分 (伊賀市総合福祉会館) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)

屋根	1	屋根 (一般)	既存 下地：コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水 (8層) 仕上：押え防水モルタル 厚50~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水 改修 防水改修 (別途工事)	屋根	8	整樋	既存 硬質塩ビ製φ100、掴み金物：FB-20×3 OP塗、養生管：鉄製 H2000 改修 既存のまま	外壁	15	オーバースライダー	既存 アルミカラー 改修 下地調整の上、DP塗 (2級) (外側のみ)
	2	屋根 (車庫)	既存 下地：ALC板 厚100 仕上：シート防水 撤去 改修 防水改修 (別途工事)		9	ルーフトレン	既存 横引きドレンφ100、縦型ルーフトレンφ100 撤去 改修 改修用ドレン		16	開口塞ぎ	既存 アルミサッシ撤去 改修 コンクリート 厚120 モルタル塗、二丁掛タイル貼 (既存合わせ)
	3	屋根 (玄関庇・階段室塔屋)	既存 下地：コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上：露出アスファルト防水 (8層) 改修 防水改修 (玄関庇は現状のまま) (別途工事)		10	玄関庇見付	既存 下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工 改修 既存のまま		17	大走り	既存 コンクリート 厚150 金ゴ子押え、鉄筋D10@200 (シングル) 周囲カッター切りの上、撤去 一部花壇撤去共 改修 コンクリート 厚150 金ゴ子押え、鉄筋D10@200 (シングル) 既設土間取り合い差し筋アンカー D10L450@200、碎石 厚100 一部花壇復旧共
	4	軒天	既存 アルミカラーサンドレ 改修 既存のまま	11	外壁 (一般)	既存 東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、EP吹付 (ゆずはだ機様) 改修 既存のまま	18		玄関ポーチ	既存 コンクリート 厚120 撤去 改修 ノンスリップ磁器質タイル 撤去 コンクリート 厚120、鉄筋D10@200タテヨコ、モルタル金ゴ子押え 磁器質タイル300角 厚9、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック300角 線状・点状	
	5	バラベツ (車庫)	既存 下地：C-100×50×20×2.3@3000以内 仕上：アルミジュラクロン加工 改修 既存のまま	12	外壁 (車庫)	既存 南・西面：リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リプラスモルタル塗、EP吹付 (ゆずはだ機様) 改修 既存のまま	19		スロープ (勾配1/12)	既存 - 改修 コンクリート 厚120、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック300角 線状・点状	
	6	笠木 (一般)	既存 防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ42.7 OP塗 改修 既存のまま	13	柱型 (車庫)	既存 リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去 改修 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付	20		屋外階段 撤去 (RC柱・梁・基礎共)	既存 手すり：□-100×50×3.2 OP塗 撤去 手すり子：□-32×32×1.6 OP塗 撤去 踏板：PC版、防水モルタル金ゴ子押え 撤去 段鼻：ノンスリップ真鍮製 (ゴム入) 撤去 改修 -	
	7	笠木 (車庫・玄関庇)	既存 アルミジュラクロン加工 改修 既存のまま	14	巾木	既存 モルタル刷毛引き H500 改修 既存のまま				○・・・工事施工部分を示す。 ■・・・既存のまま範囲を示す。	



北立面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

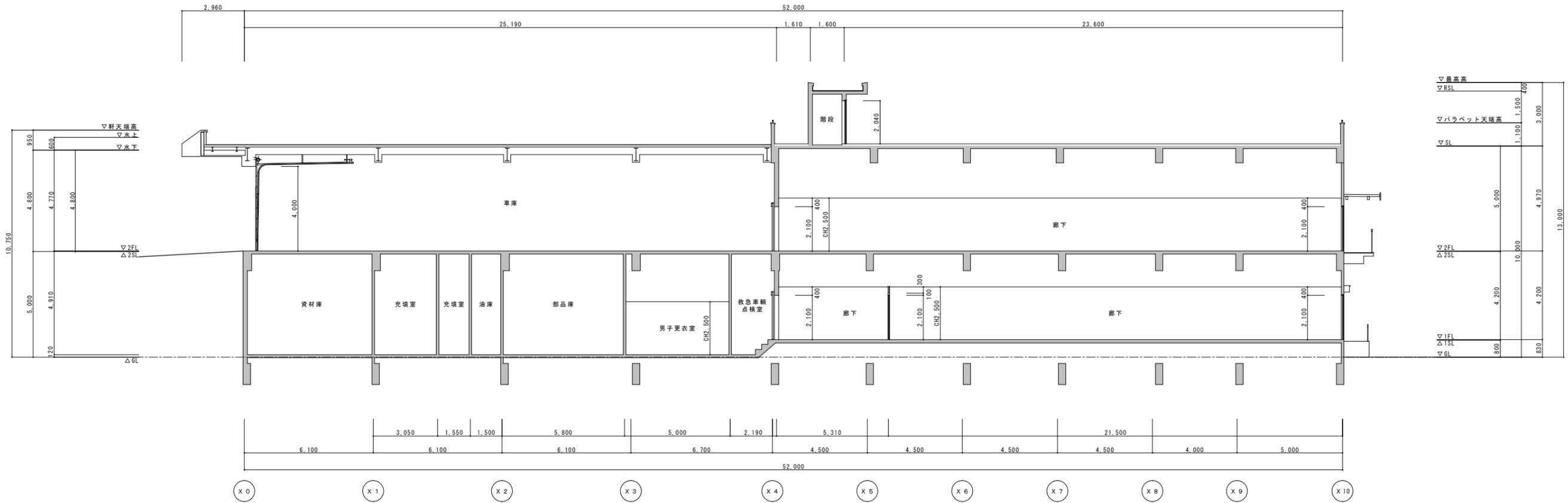
軽量シャッター 新設
(1箇所は別途工事)



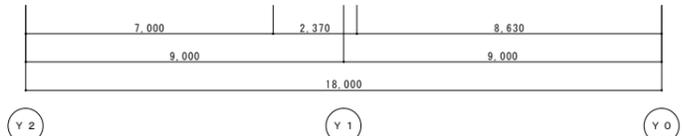
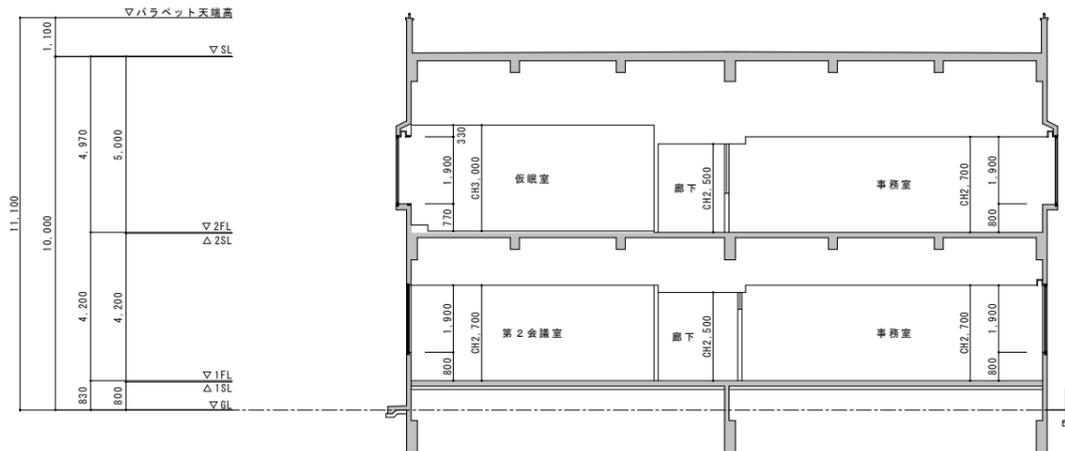
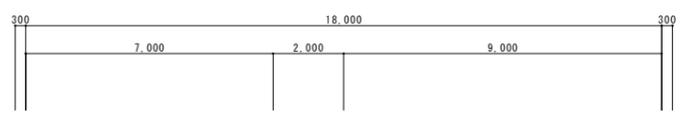
西立面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

部位	種別	仕様
屋根	I	屋根 折板葺 (山高90ハゼ) カラーガルバリウム鋼板 厚0.6 裏面: フネンエース 厚4
	II	笠木 カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 曲げ加工
	III	樋 整樋: 硬質塩ビ製φ100 (カラー)、掴み金物: FB-20×3@1200 OP塗 軒樋: 硬質塩ビ製角樋W120 (カラー)
外壁	IV	外壁 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付
	V	バラベツ表面 カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 曲げ加工 下地: ロックウール吹付 厚25
	VI	EXP・J (外壁-外壁) エキスパンジョイント: ステンレス製 クリアランスW200 耐火帯: ステンレス製 EAJ-防災-3014
	VII	巾木 コンクリート打放し補修 H830

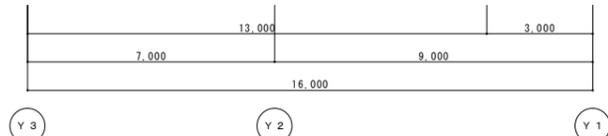
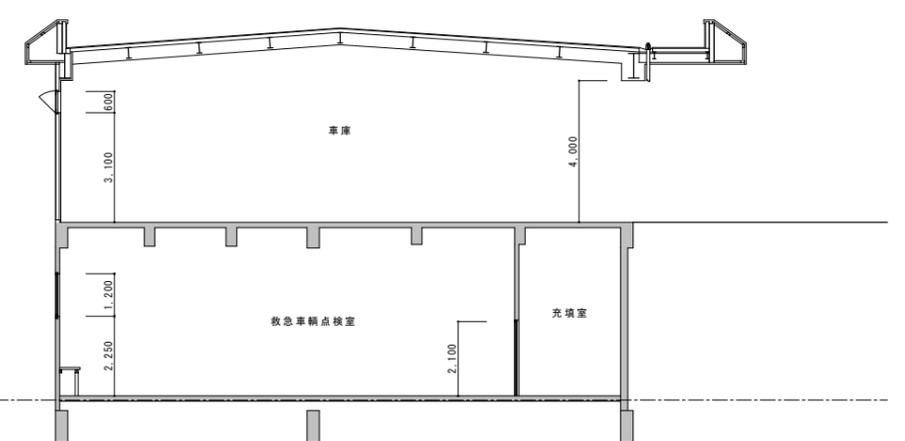
部位	種別	仕様	種別	仕様	種別	仕様		
屋根	1	屋根 (一般) 既 存 下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30、歩行用アスファルト防水 (8層) 仕上: 押え防水モルタル 厚50~70 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水 改 修 防水改修 (別途工事)	屋根	8	壁樋 既 存 硬質塩ビ製φ100、掴み金物: FB-20×3 OP塗、養生管: 鉄製 H2000 改 修 既存のまま	外壁	15	オーバースライダー 既 存 アルミカラー 改 修 下地調整の上、DP塗 (2級) (外側のみ)
	2	屋根 (車庫) 既 存 下地: ALC板 厚100 仕上: シート防水 撤去 改 修 防水改修 (別途工事)		9	ルーフトレン 既 存 横引きドレンφ100、縦型ルーフトレンφ100 撤去 改 修 改修用ドレン		16	開口塞ぎ 既 存 アルミサッシ撤去 改 修 コンクリート 厚120 モルタル塗、二丁掛タイル貼 (既存合わせ) コンクリート 厚150 金ゴテ押え、鉄筋D10@200 (シングル) 周囲カッター切りの上、撤去 一部花壇撤去共
	3	屋根 (玄関庇・階段室塔屋) 既 存 下地: コンクリート、均しモルタル 厚20~30 仕上: 露出アスファルト防水 (8層) 改 修 防水改修 (玄関庇は現況のまま) (別途工事)		10	玄関庇見付 既 存 下地: コンクリート 仕上: アルミジュラクロン加工 改 修 既存のまま		17	犬走り 既 存 コンクリート 厚150 金ゴテ押え、鉄筋D10@200 (シングル) 改 修 既設土間取り合い差し筋アンカー D10L450@200、砕石 厚100 一部花壇復旧共
	4	軒天 既 存 アルミカラスバンドレル 改 修 既存のまま		11	外壁 (一般) 既 存 東・南・西面: モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋: モルタル塗、EP吹付 (伸すはだ機様) 改 修 既存のまま		18	玄関ポーチ 既 存 コンクリート 厚120 撤去 改 修 ノンスリップ磁器質タイル 撤去 コンクリート 厚120、鉄筋D10@200タテコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル300角 厚9、段鼻タイル、一部視覚障がい者用誘導ブロック300角 線状・点状
	5	バラベツ (車庫) 既 存 下地: C-100×50×20×2.3@3000以内 仕上: アルミジュラクロン加工 改 修 既存のまま		12	外壁 (車庫) 既 存 南・西面: リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面: リプラスモルタル塗、EP吹付 (伸すはだ機様) 改 修 既存のまま 両面: 一部 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付、立上り: コンクリート打放し補修 H830		19	スロープ 既 存 - 改 修 コンクリート 厚120、モルタル刷毛引き 一部視覚障がい者用誘導ブロック300角 線状・点状
	6	笠木 (一般) 既 存 防水モルタルコテ押え 手すり: スチールφ42.7 OP塗 改 修 既存のまま		13	柱型 (車庫) 既 存 リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去 改 修 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付		20	屋外階段 撤去 既 存 手すり: □-100×50×3.2 OP塗 撤去 手すり子: □-32×32×1.6 OP塗 撤去 改 修 踏板: PC版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻: ノンスリップ真鍮製 (ゴム入) 撤去
	7	笠木 (車庫・玄関庇) 既 存 アルミジュラクロン加工 改 修 既存のまま		14	巾木 既 存 モルタル刷毛引き H500 改 修 既存のまま			



A - A 断面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

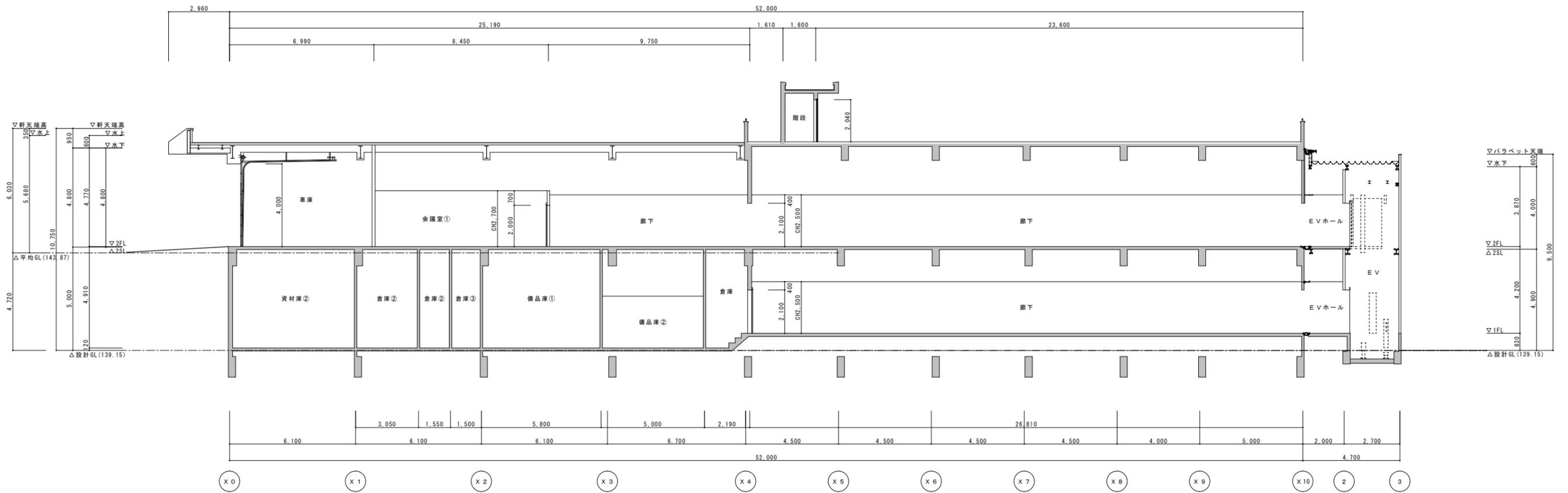


B - B 断面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

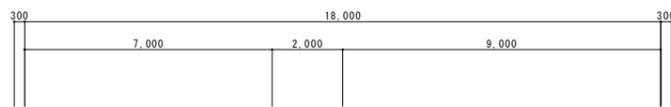


C - C 断面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

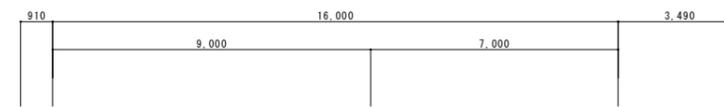
特記 工事名 図名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)		承認 管理建築士	印
	図名 < 現況 > 断面図	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)		



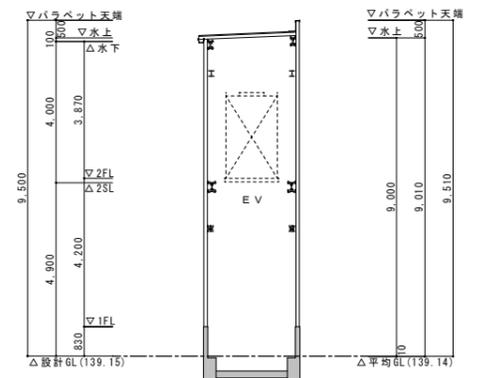
A - A 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



B - B 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

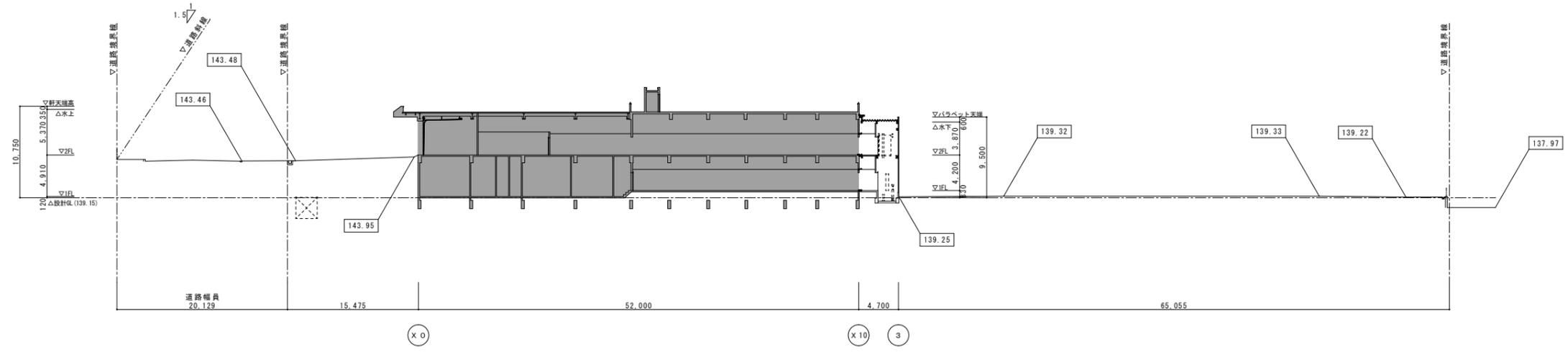


C - C 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

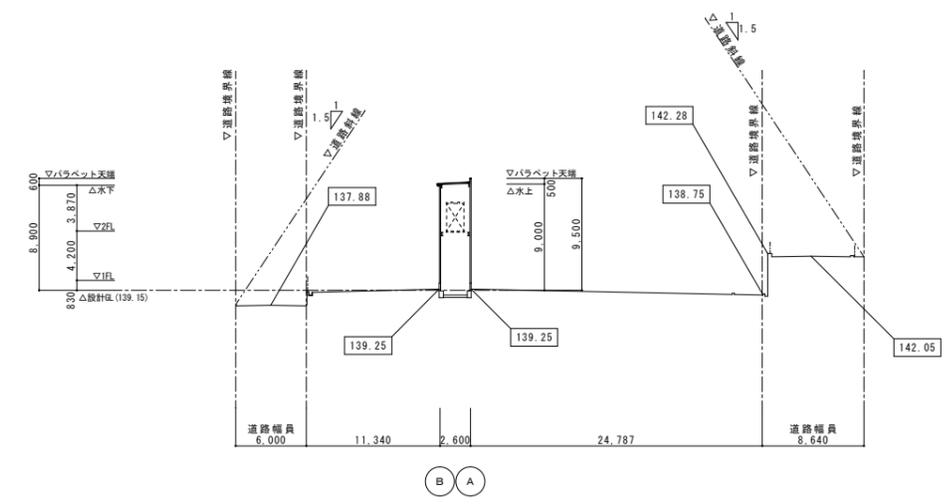


D - D 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

特記 1 2 3	工事名 (仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)			承認 管理建築士	印
	図名 <改修> 断面図	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 A-34		
製図者 出			承認者		



A - A 断面図 1/300 (A.1) 1/600 (A.3)



D - D 断面図 1/300 (A.1) 1/600 (A.3)

特記	工事名 (仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)		承認	管理建築士	印
	図名 敷地断面図	縮尺 1/300 (A.1) 1/600 (A.3)			
			製図者		